

平成三〇年度

武蔵大学体育連合会誌

武蔵

武蔵大学体育連合会本部



武蔵大学讃歌

一、朝霧深き 武蔵野の
かすむ木立の 翠くして
匂う大地に せゝらぎの
清新の音を かなずとき
われらもとめん その希望
武蔵武蔵 おゝ武蔵

二、四季めぐりゆく 武蔵野の
舞うわくらばの 夢に似て
けふる余じんに ふみびとの
なお栄光を つとうとき
われらもとめん その理想
武蔵武蔵 おゝ武蔵。

三、いま鐘はなる 武蔵野の
丘陵にあしたの 風みちて
ながるゝ雲に 白雉の
九天におもい はせるとき
われらもとめん その力
武蔵武蔵 おゝ武蔵

武蔵大 学校旗



四大学運動競技大会
大会旗



目 次


「武緑」刊行に寄せて	武蔵大学学長 山崎 哲哉 …………… 1
心と脳を育てる身体育て	学生支援センター長 武田 信子 …………… 2
スポーツの本質	身体運動科学研究室 森 健一 …………… 3
共に高め合える大会	第 69 回四大学運動競技大会副実行委員長 江崎 有華 …… 4
更なる発展を目指して	平成 30 年度 学友会長 高山 真太郎 …………… 5
新しい体育連合会へ	平成 30 年度 武蔵大学体育連合会委員長 高江 優人 …… 6
当事者意識を持ち成し遂げる	平成 31 年度 武蔵大学体育連合会委員長 小平 翔 …… 7
最優秀選手賞	剣道部 鈴木 拓海 …………… 8
優秀選手賞	応援団 伊達 浩一 …………… 9

● 高志会 ● ○ ● ○ ● ○ ● ○ ● ○ ● ○ ● ○ ● ○ ● ○ ●


● 応援団 …………… 12
● 合気道部 …………… 14
● 剣道部 …………… 16
● 空手道部 …………… 18
● 柔道部 …………… 20
● 卓球部 …………… 22
● スケート部 …………… 24
● 少林寺拳法部 …………… 26
● スキー部 …………… 28
● ワンダーフォーゲル部 …………… 30

● 水曜会 ● ○ ● ○ ● ○ ● ○ ● ○ ● ○ ● ○ ● ○ ● ○ ●


● 硬式野球部 …………… 34
● サッカー部 …………… 36
● 硬式庭球部 男子 …………… 38
● 硬式庭球部 女子 …………… 40
● ホッケー部 男子 …………… 42
● ホッケー部 女子 …………… 44
● ラグビー部 …………… 46
● 洋弓部 …………… 48
● アメリカンフットボール部 …………… 50
● ラクロス部 男子 …………… 52
● ラクロス部 女子 …………… 54
● 弓道部 …………… 56




● 金曜会 ● ○ ● ○ ● ○ ● ○ ● ○ ● ○ ● ○ ●	
バスケットボール部 男子 ……………	60
バスケットボール部 女子 ……………	62
バドミントン部 ……………	64
バレーボール部 男子 ……………	66
バレーボール部 女子 ……………	68
ハンドボール部 ……………	70



● 水の会 ● ○ ● ○ ● ○ ● ○ ● ○ ● ○ ● ○ ●	
水泳部 ……………	74
スキューバダイビング部 ……………	76



● 風の会 ● ○ ● ○ ● ○ ● ○ ● ○ ● ○ ● ○ ●	
軟式野球部 ……………	80
陸上競技部 ……………	82
ゴルフ部 ……………	84
サイクリング部 ……………	86



体育連合会会員一覧表 ……………	88
平成 31 年度武蔵大学学年暦 ……………	89
第 69 回四大学運動競技大会得点表 ……………	90
平成 30 年度幹部紹介 ……………	92
平成 31 年度幹部・本部員紹介 ……………	93

「武蔵」刊行に寄せて



山 寄 哲 哉
武蔵大学学長

体育連合会の皆さん、一年間お疲れ様でした。体連所属団体の成果で今年度もっとも印象に残っているのは、硬式野球部の春リーグでの大活躍です。筑波、帝京、桜美林を破り、日体大と大接戦を繰り広げて僅差で敗れましたが、勝率で上回り、東海大に続いてリーグ2位の座を勝ち取りました。中には延長16回という熱戦もあり、投手陣は大変だったと思います。主力となって投げ抜いた秋山君、ヒンプル君、また他の投手諸君もお疲れ様でした。また、ベストナインに選ばれた3人の選手にもおめでとうと言わせて下さい。秋リーグは選手の故障もあって振るいませんでしたが、それでも最後の入替戦で明星大を下して1部リーグ残留が決まりました。来年も期待しています。

もう一つ、大きな印象が残っている活躍がありました。それは柔道部が創部63年目にして「全日本大学柔道選手権大会」に団体として初出場を果たしたことです。5月に行われた東京大会で青山学院を破り、2回戦で中央大学に負けて敗者復活戦に回りましたが、創価大、立教大に勝ち、最後の1枠をめぐって大正大学を破って全国大会への出場権を得ました。全国大会では1回戦で関西の雄、同志社にあたってしまい初戦敗退となりましたが、全国大会に出場できたことを大きな喜びとしたいと思います。四大戦では、全試合負け無しの19勝0敗で五連覇を達成しました。おめでとうございます。

四大戦と言えば、硬式野球部や柔道部以外にも、男子陸上ホッケー部や女子陸上ホッケー部が優勝し勝ち点4点を獲得しました。心から健闘を称えたいと思います。ただ今年の武蔵は全体的には低調で、久々に2年連続最下位となりました。2020年の東京オリンピックの年は、四大戦の開催校は武蔵大学です。オリンピックイヤーの四大戦優勝を目指して、今年の成蹊での四大戦では2位を目指して欲しいと思います。

勝ち負けの話ではなく、剣道部が高校生の試合を武蔵大学で開く試み（正式名称は「武蔵大学剣道部杯高校生剣道錬成大会」）を始めて今年で6年目になります。毎年11月に関東地方を中心とした高校の剣道部チームが数十チーム、今年は200人以上の男女の高校生剣士達が武蔵大学の体育館で熱い闘いを繰り広げました。男女とも優勝は東海大学菅生高校の剣道部でした。大会の運営は剣道部現役学生と多くのOBの方々で行われ、部活を通じた高大連携として大変ユニークな試みだと感服しました。この大会が10回、20回と続けられ、武蔵大学が剣道を通じて大学と高校生が交流できる場として大いに活用されることを願っています。

最後にご紹介できなかった部活についても一言。サッカー部から東京大学サッカー選抜による台湾遠征に、丸山敦司君、中瀬大夢君、三澤健太君の3名が選ばれました。チームとしては2部リーグの下位という結果でしたが、来年度は2部優勝、1部リーグ復帰を目指して頑張ってください。野球は、軟式野球部も健闘しています。春のリーグでは、喜多山航君と成瀬大地君が、秋リーグでは、木内隆盛君がベストナインとして表彰されています。秋リーグは4位でしたが、今年は春秋優勝を目指して下さい。

武蔵大学体育連合会の各部の来年度の健闘を祈念して、『武蔵』刊行の挨拶とさせていただきます。

心と脳を育てる身体育て



武田 信子
学生支援センター長

本学の身体運動科学の実技科目が必修でなくなってから何年も経過した。選択の実技科目を取っている学生は2-3割にとどまっているという。この間、学生の体力を支えていた実技授業がなくなったばかりでなく、文部科学省の指導で、授業の出席管理が以前よりも厳しくなって祝日も授業が行われ、授業外学修時間まで調査されるようになっている。生活費、学費を稼ぐアルバイトにも忙しい学生たちは、いつ身体づくりをすることができるのだろうか。生涯学んでいく人間にとって、身体は資本であり、身体が出来上がった20歳前後に自分の身体との付き合い方を学んでおくことは何よりも大切なのだが、それが社会的にどうも理解され配慮されているとは思えない状況が発生している。

さて、2018年2月に私は、田中愛助教授と共に学生12人を引率してデンマークを訪問し、ゲアリユウ・イドウレット・ホイスコレ (Gerlev Idraetshojskole) という生涯スポーツの民衆学校を見学した。案内のLars Hazelton氏によれば、その学校では「若者が自分について研究するための教育を行う」ことを目的とし、「若者を物理的・身体的に育てることを通して、心と脳を育てる」という。さらに「学生が人として強くなれば、皆に良い影響を与える人が増える。生活を共にすることで、互いに人として自分と異なる面やぐちゃぐちゃな面も知り、そこでも人としてうまくつきあっていく力が身についていく。正しいか間違っているかを教える教育とは異なる学びがここにある」というのである(武田、田中他, 2018, 平成29年度海外フィールド実習報告書『デンマークで「育ち」と「遊び」と「学び」の関係を考える』)。

大学における必修の体育がなくなってしまった今、本学における体育連合会及びそれぞれの部活動の自主的な活動が、上記のような学びを学生にもたらすものとなっているだろうか。各部で確認し、よりよい活動を工夫してめざしてほしい。

スポーツの本質



森 健一
身体運動科学研究室

体育連合会に所属する各部部員の皆さん、また、本部長として様々な活動の運営と支援に携わった学生の皆さん、本年度の活動本当にお疲れ様でした。

さて、2018年もスポーツ界は話題に事欠かない年でした。平昌オリンピック・パラリンピックでは多くの選手の活躍が記憶に新しいかと思えます。そして、いよいよ東京オリンピック・パラリンピックがすぐそこまで迫ってきています。そのような中、2018年アジア大会では、エレクトロニック・スポーツ (electronic sports)、いわゆるeスポーツがデモンストレーション競技として実施されました。2024年のパリオリンピック・パラリンピックでも実施種目として導入するか検討されています。

スポーツとは、身体活動を伴う活動だけをスポーツというのでしょうか。辞書を引いてみると、身体運動の総称、娯楽、楽しみなどが検索できます。スポーツ基本法ではスポーツを「身体活動」と定義していますが、スポーツ庁は、「伝統技芸から先端科学技術に基づく活動までスポーツの範囲が広がり、多様化する中、スポーツの定義や価値を整理する必要がある」としています。スポーツの定義を身体活動が伴い、体力的要素の関わりの高さに限定すれば、eスポーツはスポーツとは言えないでしょう。しかし、身体活動がそれほど多くない、チェスやオートレースはそれぞれマインドスポーツ、モータースポーツと呼ばれています。果たして、スポーツとは何をさしているのでしょうか。先人たちの研究では、近代スポーツは「遊びに満ちた身体的競争」とであると説かれています。現在の「スポーツ」が意味している内容は、上記の内容とは少しずつ異なってきているのかもしれませんが、「遊びに満ちた」という箇所は普遍的であり、スポーツの本質です。皆さんも、自身が行っている部活動で、遊びに夢中になって欲しいと思います。

四大学運動競技大会でも、スポーツ（遊び）に夢中になる学生の皆さんの笑顔あふれる姿を楽しみにしております。次年度も体育連合会の益々のご活躍を、そして、躍進の年となるよう心からお祈りしております。

共に高め合える大会



江崎 有華
第69回四大学運動競技大会副実行委員長

第69回四大学運動競技大会副実行委員長を務めさせていただきました、経済学部経営学科4年、男子バスケットボール部所属の江崎有華と申します。はじめに、本年度の学習院大会におきましては、各部の皆様にも多大なるご理解とご協力を賜りまして、四大戦を無事開催できましたことを深く御礼申し上げます。

今大会のスローガンである「四烈」には、「熾烈」な争いの中で各選手が限界まで力を出し切り、競技が終わった時に自然と相手をリスペクトできる環境を作れるように、という意味も込められています。天候に恵まれた本戦3日間では、無事に全ての競技を行うことができ、また四大学が互いに競い合い、共に汗を流すことでさらに絆が深まったことを実感しました。選手の皆様の大会にかける思いも強く感じることができ、運営に携われたことを大変嬉しく思います。スローガンのように、この戦いを通じて誰もが一步成長するような、素晴らしい大会となったことを身を以て実感することができました。

武蔵大学の成績といたしましては、一般種目と正式種目共に4位という大変悔しい結果に終わりました。スケジュールの変更等もなく、運営上の大きな問題や怪我等もなく大会を終えられたことは大変喜ばしいことではありましたが、順位としては来年に向けた課題点も多く挙がる年となりました。実行委員として、選手の皆様がより一層競技に集中できる環境を築いていきたいと思っています。

正式種目の運営にあたり、各部の皆様には、日程調整や会場設営等にご苦勞をおかけした点も多く、また本戦期間中には学内施設の使用においてご不便をおかけいたしました。感謝を申し上げますと同時に、次大会以降も実行委員一同尽力していく所存ですので、今後とも皆様にはご理解、ご協力のほど宜しくお願い申し上げます。

長い歴史を持ち、受け継がれてきたこの四大戦は、来年70回大会を迎えます。今後も永遠に開催され、四大学の繁栄に貢献すること、選手の皆様にとっては、武蔵大学生であること、また四大学の一員であることを誇りに思い、戦い、楽しみ、大学生活において忘れることのできないかけがえのない思い出となる場であり続けてほしいと願っております。各部の皆様にも、四大戦をより一層盛り上げていく一員として、今後ともご協力を賜りたいと思っています。

来年度の第70回成蹊大会に向け、武蔵大学として大きな支えとなれるように尽力していきたいと思っています。皆様のさらなるご活躍を祈念いたしまして、私からの挨拶と代えさせていただきます。

更なる発展を目指して



高山 真太郎
平成30年度
学友会長

平成30年度学友会長を務めさせていただきました、社会学部メディア社会学科3年高山真太郎と申します。武蔵大学体育連合会本部並びに体育連合会所属団体各部の皆様、1年間の活動お疲れ様でした。

私たち学友会本部は、体育連合会本部やその所属団体各部の皆様と毎年、数多くの交流をさせていただいております。6月に行われる学生大会、また年末に行われる学友会選挙において多大なるご協力と参加を頂きましたこと、厚く御礼申し上げます。

さて、今年度も様々な部活動がリーグ昇格や上位大会への出場といった輝かしい結果を得られたことを同じ武蔵大学生として嬉しく思います。各部の皆様は、目標達成まで様々な困難を乗り越えたかと思います。来年度以降も更なる飛躍となるよう心から願っております。

学友会は武蔵大学の在校生全員が所属する組織です。その組織本部として、私たちは「学生生活の充実と向上」をテーマに掲げ、日々活動しております。スポーツのみならず様々な分野において、学年や学部学科の壁を越えて意見の交流を行っております。武蔵大学には多くの学生が在籍しており、その数だけ困っていることや不安、不満に思っていることもあると思います。それらを一つでも多く解決できるように精進してまいりますので、何かございましたら、是非お気軽に学友会室まで足をお運び頂ければ幸いです。

また、武蔵大学は来年で70周年を迎えます。記念の年に相応しいさらなる飛躍の年となるよう努めてまいります。力不足な点多々あるかと思いますが、ご協力をお願いいたします。

最後になりましたが、体育連合会ならびに所属団体各部の皆様、またOB、OGの諸先輩方におかれましては、今後ともご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。

新しい体育連合会へ



高江 優人
平成30年度
武蔵大学体育連合会委員長

平成30年度体育連合会委員長を務めさせていただきました。経済学部経済学科4年高江優人と申します。平素は格別の御高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

まず、11月22日体育連合会において幹部交代式を行いまして、今年度も無事に交代を終えることができました。今年一年を振り返ってみると、例年先輩方から継承してきた歴史ある体育連合会を引き継ぐとともに、予算の見直しや活動の内容の改善に取り組み有意義な活動を送ることができたのではないかと感じております。

しかし、私個人としては至らない点が多かったということも考えさせられます。一つの歴史ある組織を運営していくことは難しいのだと痛感させられました。この経験を忘れないように今後も機会があれば体育連合会本部のサポートを行っていく所存でございます。

さて、今年度の四大学運動競技大会は学習院が開催校であり、私どもも至らないながらサポートを行い、成功の一助となることができました。しかしながら、今年度の四大戦では武蔵大学の一般種目における穴が目立ってしまったように感じます。我々体育連合会も一般参加の皆様へのサポートは例年通り行ってまいりましたが、今回の結果を踏まえまして一つ変革の必要があるというように反省いたしました。次の世代の後輩たちにはより一層の一般参加の皆様への宣伝や体育会の皆様にも積極的に参加していただけるような工夫を目指して取り組んでいってほしいというように考えております。

各部の皆様におかれましては、例年の学内戦へのご協力や体連主催のイベントへのご参加改めて御礼申し上げます。

最後になりますが、各部の皆様、OB/OGの諸先輩方、教職員の方々におかれましては、多々至らない点もあるかとは思いますが、どうぞ体育連合会、また各部の発展のために今後ともご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。

当事者意識を持ち成し遂げる



平成31年度
武蔵大学体育連合会委員長
小平 翔

まずはじめに、OB・OGの皆様におかれましては日頃よりご尽力いただきありがとうございます。感謝申し上げます。

この度、武蔵大学2019年体育連合会本部委員長を任されました、経済学部金融学科3年硬式野球部所属小平翔と申します。この歴史と伝統ある体育連合会本部の委員長を任されたことに喜びを感じると共に、責任の大きさを感じています。体育連合会に所属している、各部のここ数年の活躍は過去に例を見ない凄まじいものと感じています。それも各部の皆様の日頃の練習の賜物だと思います。

私たち、本部員も各部の皆様の日頃の活動をより良いものへと改善できるよう共に精進していく次第であります。

2019年体育連合会本部と致しましては、体育連合会イノベーションと打ち出し、まずは本部員の意識改革を図ります。各部の課題を共有し、当事者意識を持つことで、誰かがやるではなく、自分がやる。1人1人がリーダーシップを発揮できる本部にしていきます。今までにはない体育連合会本部を創造していくつもりであります。

2020年は、東京五輪の開催年として日本全土が注目しています。そんな中、四大学運動競技大会は、武蔵大学が開催校であり、より一層の盛り上がり期待されます。今年の70回成蹊大会を成功させ、武蔵大会に繋げていきたいと思ひます。

今年度も体育連合会本部をよろしくお願い致します。

最優秀選手賞



鈴木 拓海
最優秀選手
剣道部

この度は、最優秀選手賞という名誉ある賞を頂いた事に心より嬉しく思っております。また、このような賞を受賞できたのも、日頃からお世話になっている武蔵大学剣道部の監督、師範、OBや、常に支えてくれる仲間がいてくれてこそその受賞であると思っております。

剣道部においては、関東学生剣道優勝大会において、全国日本学生剣道優勝大会に、あと一步のところまで敗れてしまい、四大学の定期戦においても二位という結果で優勝する事は出来ませんでした。しかし、それまでに仲間と共に、きつい練習をしてきた事や一分一秒を仲間と共に過ごした日々は私にとっては宝物であります。

10月に行われた、警視庁剣道親善試合では、関東学生剣道連盟から50人が選抜され、仲間達と練習してきた事をすべてぶつける気持ちで臨みました。その時は武蔵大学剣道部の全部員の代表者として、全員の気持ちを乗せて試合を行いました。

また、11月に行われた「第6回武蔵大学剣道部杯高校生剣道錬成大会」では実行委員長を務め、大会を大成功におさめることが出来ました。それもまた、山崎学長をはじめ、学生支援センター、生活科、同窓会など、さまざまなお力添えをいただいたからだと思います。心より感謝申し上げます。

剣道部の先輩方には、剣道の事はもちろん、剣道以外の面もしっかり指導して下さり、学ぶ事が出来ました。その先輩達から教わった事を次は主将である自分を軸に部員一同に伝えていき、去年よりも更にはいいチームを作っていきたいと思っています。

今回の最優秀選手賞は、私にとっても剣道部にとっても大変嬉しく糧となるものであり、来年度の関東学生剣道優勝大会において全国の切符を手に入れ、四大学の定期戦においても優勝するという目標に向かって部員一同で日々精進していきたいと思っております。また、剣道部のスローガンでもある「剣縁」を常に胸に刻み、これから関わる方々との縁やお世話になっている方々との縁も大切にしていきたいと考えています。

優秀選手賞



伊達 浩一
優秀選手
應援團

2018年度優秀選手賞に選出されました、應援團前團長の伊達浩一です。このような名誉ある賞に選出していただいたこと、至極光栄に存じます。

私にとって武蔵大学とは「世界一の愛すべき母校」です。

4年間應援團に所属し、主に学内での式典行事、地域のお祭りでの演舞、四大学関係や部活動の応援といった場などで活動させていただいておりました。

應援團はリーダー部とチアリーダー部からの2部で構成され、私が入部した應援團リーダー部は2人といった少人数から活動し、時には應援團全体で私1人のみで部活動の応援をさせていただいたことも度々ありました。

現在は部員数も増えた為、1人で応援に行くことは無くなりましたが、当時は何度も心が折れそうになりました。

しかし、その度に選手の皆様や観客の方々、学校関係者等の周囲の方々から励まされ、4年間続けることが出来ました。本当に有難う御座います。また、ついてきてくれた後輩達や日頃から御指導をいただいている田原監督、OB・OG 諸先輩方にも感謝の気持ちでいっぱいです。

自分は常に「良い応援」について研究し、部員内や選手から応援の感想を伺ったり、他校の応援風景を見るために現地まで足を運んで応援を研究したり、他校の応援動画を1000本以上見る等して、良い応援は積極的に取り入れて應援團の指導に努めておりました。

入部当初と比較して着実に体制が整ってきたこと、多くの御依頼をいただけているこの状況に涙が出る想いです。

一つでも多くの試合や式典に駆けつけ、力を入れて部員一同応援させていただきますのでこれからも御依頼の方をいただけますと幸いです。

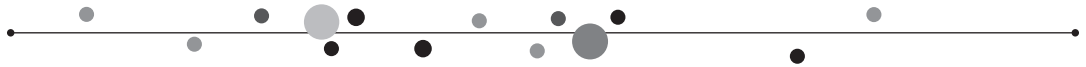
武蔵大学、本当に大好きです。

私は應援團を引退しましたが、この先も武蔵大学を応援し続けます。

末筆では御座いますが、体育連合会本部・各部の皆様の御活躍と、武蔵大学の益々の御発展を御祈り申し上げますと共に、今後共武蔵大学應援團を何卒宜しく御願ひ申し上げます。

押忍。失礼します。

高志会



應		援		団
合	氣	道	道	部
剣		道		部
空	手	道		部
柔		道		部
卓		球		部
ス	ケ	ー	ト	部
少	林	寺	拳	法
ス		キ	ー	部
ワ	ン	ダ	ー	フ
ン	ダ	ー	フ	ォ
				ー
				ゲ
				ル
				部

應 援 団

創立年 1962年 チアリーダー部 1986年
所属リーグ・連盟 公益社団法人 日本チアリーディング協会
部員数 男子6名 女子14名 親衛隊2名



團長
武藤 成仁



副團長
大矢 昇治



チアリーダー部長
宮下 千聖



副團長兼チアリーダー副部長
平野 沙季

部活紹介

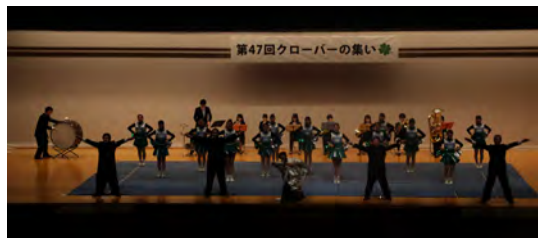
我々武蔵大學應援團の主な活動はアメリカンフットボール部やラクロス部などといった体育連合会各部の応援活動、地域のイベントや白雉祭での演武披露、同窓会などでの讃歌・エールを行う活動をしております。

特に力を入れている活動は、学習院大学、成蹊大学、武蔵大学、成城大学の四大学合同で行われる「四大学運動競技大会」の応援と、『クローバーの集い』という四大学應援団合同で行うチャリティーショーです。2019年も第49回チャリティーショー『クローバーの集い』が開催決定となりましたので是非お越し下さい。(Twitter → @4univ_ouendan で情報発信しておりますので是非フォローして頂ければ幸いです)

團長抱負

この度武蔵大學應援團第五十七代團長に任命されました経済学部経済学科武藤成仁と申します。自分が入部した際は過去の先輩方が武蔵大學應援團の立て直しに奮闘していた時期で、後輩も入部し、リーダー部の復活の機運が高まっております。今後はより学内や学外の方々に良い意味で注目されるような武蔵大學應援團を作って行きたいと思っております。

今後とも御指導御鞭撻の程、宜しく御願致します。



新入部員の感想

私は体育部に所属したことがなく、体力のなさを不安に思っていたのですが、部活の雰囲気の良いを決め手に入部を決めました。練習は大変ですが、先輩方が優しく教えて下さるので、楽しんで活動できています。また、その練習の成果を大会やイベントで発揮できた時は大きなやりがいを感じることができました。この部活は演技だけでなく応援団として応援活動もできるので様々な部活や他大学の方との交流が持てて充実した大学生活を送ることができています。今後もチアリーダーとして自覚を持って楽しく活動していきたいと思っています。

部内のこぼれ話

応援依頼募集中です。

リーダー部 Twitter → @MUSASHI_ENDAN

チアリーダー部 Twitter → @PHEASANTS_cheer

にDMもしくは各団員に御一報頂ければ応援に伺わせて頂きますので是非御連絡お待ちしております。

練習曜日

リーダー部

月・火・水・木・金（土・日は応援活動）

OB・OGの先輩方へ一言

OB・OG先輩方には日頃から御世話になっております。OB・OG先輩方が作り上げてきた伝統に恥じない様に、また、次世代に向けてしっかりバトンを受け継げるように、リーダー部チアリーダー部共に精進して参りますので今後とも御指導御鞭撻御支援の程、宜しく御願い致します。

今年の活動報告

2月 幹部総会

5月 学内運動競技大会

6月 前期リーダー公開

10月 第48回チャリティーショー『クローバーの集い』
四大学運動競技大会

11月 白雉祭

えこだゆうゆうロード「ナイトバザール」
リーダー公開

12月 後期納会「白雉の集い」

第30回全日本学生選手権大会(チアリーダー部)



合気道部

創立年 1959年

所属リーグ・連盟 関東学生合気道連盟

部員数 男子1名



主将

清水 拓也

部活紹介

合気道は、日本の様々な伝統武術を極めた植芝盛平によって創始された現代武道です。関節技や投げ技により力や体格差に関係なく相手を制する技が数多くあることで有名で、特徴としては、1. 試合がない、2. 体術のみならず、武器術もある、3. 力や体格差に頼らないので、老若男女誰でもできるという点があります。

また、日本国内にとどまらず世界的にも普及しており、現在135ヶ国に支部道場が開設されています。

主将抱負

武蔵大学体育会合気道部は4年生が引退し現在部員が1名しかおりませんが、他大学と合同稽古を行ったり、新宿にある本部の道場に行き日々稽古に励んでおります。また、稽古の際には部員数は少ないながらもメリハリや先輩方との上下関係を大切にしていきたいと思います。そして、合気道は試合がありませんが日々の稽古では毎回1人1人がきちんと目標を持ちながら稽古に励んでいこうと思います。

今年の活動報告

全国合気道演武大会

全国学生合気道演武大会



新入部員の感想

私が合気道部に所属して良かったと思う事は、合気道を学べるという事はもちろんありますが、礼儀作法や精神的な面でも学べる点がたくさんあるということです。また、他大学と稽古や合宿をする機会もあるので他大学とも交流する事が出来ました。最初は今まで運動部に所属したことがなかったので不安もありましたが、先輩方に色々教えて頂きながら楽しく、とても充実した生活を送っています。

OB,OGの先輩方へ

昨年は大変お世話になりました。ありがとうございます。先輩方が日々の稽古や合宿に参加して下さったことで稽古により活気があふれていました。また稽古後には美味しいごはんを食べながらいろいろな話を聞くことが出来とても勉強になりました。ありがとうございます。お時間がある際は是非合気道部に足を運んでください。至らない点もあると思いますが、今後ともご指導ご鞭撻のほどよろしく願いいたします。

武蔵大学体育会合気道部について

武蔵大学体育会合気道部は、10号館5階の道場を使い日々稽古に取り組んでいます。稽古は週6日（昼休みと放課後に週3日）行い、毎日少しでも合気道に触れられるようにしています。また、春には伊豆に夏には長野に他大学と合同で合宿を行います。合宿では稽古を一生懸命頑張った後の最終日にBBQや花火、打ち上げを行いとても達成感と満足感のあるものとなります。合気道部に入ったことで毎日とても充実した生活を送れています。



剣道部

創立年 1960年

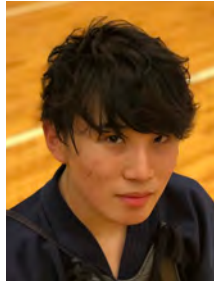
所属リーグ・連盟 関東学生剣道連盟

部員数 男子20名 女子3名



主将

鈴木 拓海



副将

金本 龍輔



主務

田中 優太郎

部活紹介

剣道は竹刀で相手の面・籠手・胴・突きを打突し有効打突を競う競技です。1対1で打ち合う運動競技種目としてみられますが、稽古を日々続けることによって心身を鍛錬し、人間形成を目指す「武道」です。

私たち剣道部は週5回、10号館5階の剣道場にて活動しています。部員の中には幼稚園に通っていた頃から続けている人や大学に入学してから始めた人もいます。メリハリのある部活動を目指し、部員全員が全力で部活動に取り組んでいます。また、剣道部主催の高校生大会も催し、剣道以外にも幅広く学ぶことのできる部活動です。

今年の活動報告

- 1月 新年会
- 3月 追い出し稽古
- 5月 関東学生剣道選手権(個人戦)
- 6月 四大戦(個人戦)・前期納会
- 9月 明鏡杯・関東学生剣道優勝大会(団体戦)
- 10月 四大戦(団体戦)
- 11月 第五回武蔵大学剣道部杯高校生剣道錬成大会
- 12月 関東学生剣道新人戦大会・後期納会

主将抱負

私が主将を務める剣道部の抱負は2つあります。1つ目は全日本学生選手権大会出場、四大戦優勝です。そのために普段の練習や行動を大事にし、目標に向かって一生懸命努力していきます。2つ目は「剣縁」という剣道による繋がりを大切にすることです。何かの縁でたまたま剣道をやっている仲間が大学の剣道部には集まっています。そんな仲間同士が互いに尊重しあっていくことが大切だと私は考えます。今後とも武蔵大学剣道部を宜しくお願い致します。



新入部員の一年を通しての感想

私が剣道部に在籍した感想は、明るい先輩方がいて、楽しそうな部活だという印象を受けました。また、部活の時間になれば気持ちを切り替え、部員同士、お互いを高めあえるような部活動だということがわかりました。入学して8ヶ月経った今でも、先輩方や同期と一緒に楽しく稽古に励んでいます。これからも、部員全員が高めあえる部活動を継続できるように、そして結果を出せるように頑張っていきたいと思えます。剣道部のたくさんの仲間にも恵まれて本当に良かったです。

やっいてよかったと思うこと

やっいてよかったと思うことは、忍耐力がついたと感じるときです。普段の部活動もそうですが、部活動以外での活動、例えば、ゼミや教職の授業、アルバイトなど何かしらの辛いことがあります。困難なことに直面した時、どうすれば乗り越えられるか、あきらめずに前に向かって行く癖がつきました。目標を達成したとき、仲間がいれば尚より良い達成感を得ることができます。こういったことを学ぶことができ、剣道部に入部して、剣道を続けてきて良かったと思います。

OB・OGの先輩方へ一言

日頃からの剣道部への御指導、御鞭撻の程、有難うございます。また、活動の運営など支えていただき有難うございます。特に、合宿や大会、高校生大会の開催においてはご多忙にもかかわらず来てくださり、部員一同多大な力を頂いております。今後もより一層日々の稽古に精進し、先輩方の期待に応えられるようにしていきたいと思えますので、今後とも武蔵大学剣道部を宜しくお願いします。



空 手 道 部

創立年 1955年（昭和30年）

所属リーグ・連盟 全日本空手道連盟／関東学生空手道連盟／日本空手道研修会

部員数 男子6名 女子2名



主将

龍福 奈美



主務

田中 祐臣



会計

入江 丈一朗

部活紹介

私たちは「形」と「組手」の二種類で試合を行う伝統空手という競技をしています。「形」は一人で演武するもので、「組手」は防具をつけ、相手と技を出し合いながらポイントを取るポイント制で競い合います。

来年開催される東京オリンピックで空手道が初めてオリンピック競技に追加され、注目を集めています。武道であるため試合での勝利だけでなく、肉体的・精神的にも鍛練することができ、礼儀を学べるのも空手道の魅力です。

主将抱負

昨年に引き続き空手道部主将を務めさせていただいています、3年の龍福と申します。1年間主将を務めさせていただき、部員を気に掛ける大変さを実感しました。また試合に出場するにあたりOB・OGの先輩方のご支援のありがたさを知ることが出来ました。新入部員を入れることは出来ませんでした。留学生が入部してくれたことに嬉しく思います。来年度は新入部員を入れ、部を盛り上げられるようにより一層練習に励みたいと思います。



新入部員の一年を通しての感想

私は日本で空手をすることが夢でした。空手をするときすごく幸せになります。その武道のおかげで自分の問題を忘れます。そして新しい友達に会うことができました。また、留学生として自信があります。

マドリー（留学生 フランス）

今年の活動報告

第46回関東学生空手道選手権大会

男子 組手 : 田中 (3年)

女子 組手 : 龍福 (3年)

第29回関東学生空手道体重別選手権大会

男子 組手 -60kg級 : 田中 (3年)

女子 組手 : 龍福 (3年)

<3年 田中の出場した大会>

第32回ノースウェストクラシック国際空手道選手権大会

男子個人形 18歳以上の部 優勝

古武道 18歳以上の部 準優勝

全日本空手道連盟糸東会 北信越予選会

男子個人形 準優勝 (新潟県代表)

全日本空手道連盟糸東会 全国選手権大会

男子個人形 ベスト32

国際玄制流空手道連盟武徳会全国大会

男子個人形 準優勝

男子個人組手 -70kg 3位

OB・OGの先輩方へ一言

いつも大変お世話になっております。私たちはOB・OGの先輩方のご支援やご協力のおかげで連盟に加盟し続けることができ、日々充実した活動に取り組むことができています。これからもたくさんの方々にご支援いただいていることに感謝し、真摯に空手と向き合っていけたらと思います。部員一同、互いに切磋琢磨し日々成長できるよう練習に励んでまいりますので、今後とも変わらぬご指導、ご鞭撻のほどよろしくお願いいたします。

やっつけてよかったと思うこと

連盟に復帰したことで今まで知らなかったレベルの高い選手と試合をすることができ、自分たちの視野を広げられました。その経験を糧として練習に励むことができ、監督や師範をはじめとするOB・OGの先輩方の支援のありがたさを改めて感じる事が出来ました。自分たちの実力が知れたこと、そして支援してくださっているの方々への感謝を忘れずこれからも日々成長していきます。



柔道部

創立年 1955年

所属リーグ・連盟 東京学生柔道連盟 2部

部員数 男子32名 女子1名



主将

鈴木 凜



副将

林 秀哉



主務

石崎 和湖

部活紹介

我々の行っている競技「柔道」は、日本が世界に誇れる競技であるといえます。オリンピックでも数々の日本人がメダルを獲得しており、伝統と勢いのある競技です。

競技における勝利のみを目標としておらず、身体と精神の鍛錬と教育を目的としています。柔道を通して、社会に出て役にも立つ教養を身に着けることができます。

私達武蔵大学柔道部は週4日の稽古の中で日々心身共に鍛錬に励んでいます。その他にも合宿や出稽古で、他大学と交流する機会が数多くあります。

今年の活動報告

四大新人柔道大会 優勝

四大学柔道大会 優勝

平成30年 東京都ジュニア柔道体重別選手権大会
兼JOCジュニアオリンピックカップ

66kg級 ベスト5位 3年 林秀哉

平成30年度 東京学生柔道優勝大会(男子67回)

全日本学生出場権取得

平成30年度 全日本学生柔道優勝大会(男子67回)

出場

主将抱負

この度、主将に就任いたしました経済学部金融学科3年鈴木凜です。柔道修行を通して各々が心身ともに成長し、楽しく活動できるような部活動にしていきたいと思っています。今年の四大戦は去年同様2つとも優勝することができました。試合に来ていただいたたくさんのOB・OGの先輩方や、各関係者の応援、そして師範の日々のご指導のおかげでございます。来年度も、有望な選手が多く入り、さらに部が活気づくと思います。四大戦優勝はもちろん、さらに高い目標を持ち、日々活動をしていきたいと思っています。よろしくお願いいたします。



新入部員の一年を通しての感想

私が武蔵大学柔道部に入部して良かったことは、自分の居場所ができたことです。先輩方はみんな優しい方ばかりで部活動だけではなく大学生活についても大変お世話になり、いろいろアドバイスもしてくれます。指導者である栗原師範は普段練習で厳しい方ですが私達のことを本気で考えてくれているとても素晴らしい人です。

このような素晴らしい人たちがたくさんいる柔道部に入部出来て心から良かったと思っています。

OB・OGの先輩方へ一言

毎回の暖かい応援と多大なる支援、誠にありがとうございます。

我々柔道部は、毎年悔しい結果になってしまい、目標が達成できず、先輩方のご希望に沿うことができずにいました。しかし、今年こそは部員が一丸となり優勝を目指し、先輩方に笑顔を届けることができるように日々の練習を大切にしていきます。

先輩方の応援が武蔵大学柔道部の追い風となりますので、これからもよろしくお願いします。

やっていたよかったと思うこと

柔道部に入部して良かったと思うことは、大切な仲間ができたことです。練習や合宿など一緒にいる時間が長く家族みたいな存在です。先輩は優しく面白く、様々な場面で助けてくれます。稽古のときは頼もしく、稽古中は良い緊張感をもって臨むことができます。試合に負けて悔しい思いをしたとき反省点をみんなで話し合い、励まし合います。こんなに本気になれたのは柔道部に入り、共に成長していく仲間と出会えたからだと思います。



卓 球 部

創立年 1955年

所属リーグ・連盟 日本学生卓球連盟 男子4部 女子4部

部員数 男子20名 女子4名



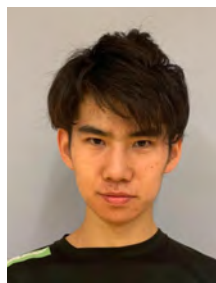
主将

芝崎 諒



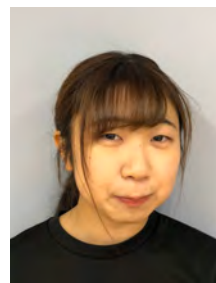
主将

佐藤 瑛莉



副将

高島 宗太郎



副将

深澤 光

部活紹介

私たち卓球部は現在4年生4人、3年生6人、2年生9人、1年生5人、計24人で活動しています。そのうち1・2年生を中心に活動しています。部員全員が3部昇格を目指し日々技術を磨くために練習を行っています。練習形式としましては4時30分～6時30分で行っており、45分で9個の基本練習を行い、7分の休憩をはさみ、30分で3つの課題練習を行い、3分の休憩をはさみ最後に試合を行っています。少し前までは基本的には自由に練習を行っていたのですが、3部昇格のために、基本練習、課題練習、試合と3パターンに分けて練習をするようにしました。試合経験を増やすためオープン大会などに参加するなど、実践の機会をつくるようにしています。部の雰囲気としては先輩後輩関係なく仲が良く、温かい部活です。目標としては毎年春と夏に行われるリーグ戦で勝ち入れ替え戦で勝ち3部昇格できるように日々努力しています。

今年の活動報告

男女共に4部残留

主将抱負

卓球部の主将を務めさせていただいております、芝崎諒と申します。

現在、卓球部は男女ともに4部に所属しています。武蔵卓球部は4部で戦える力を持っているのですが、競ったときの大事な1点が取れなく、今年のリーグ戦では男女とも1位になれなく入れ替え戦に出場することができませんでした。この悔しさをばねに現在は競ったときに大事な1点をとれるように練習メニューを変え入れ替え戦に出場できるように日々切磋琢磨し練習を行っています。男女ともに3部昇格するため日々努力を怠らず、よりよい部活作りをしていこうと思います。



新入部員の一年を通しての感想

私はこの卓球部で過ごす四年間での目標を決めました。それは「関東学生リーグの3部で優勝すること。」です。そのためにこの一年目では4部から3部へ昇格することを目標としていましたが、春、秋のリーグ戦では4部残留という結果に終わりました。その原因は練習時間が他の大学に比べて少ないことだと考えています。他大学は平均して週4回で4時間練習しているのに対して武蔵大学は週3回の2時間です。この練習量の差が他大学の選手に追い抜かれた原因だと考えました。しかし練習量を増やすことは難しく、私たちは練習の質を高めることにしました。以前は疲れるような練習をしていませんでしたが、ハードな練習を取り入れたメニューを組み立てました。この提案をしたのは1年である私です。普通の部活であれば1年生の意見なんて聞いてもらえないと思っていましたが、武蔵大学の先輩方はきつい練習に文句こそ言えど一生懸命頑張ってください、部全体の实力が高まっていくのを感じました。この柔軟な対応が武蔵大学卓球部の強みだと思います。今後もこの柔軟さを残して、次の年に入ってくる後輩達の意見も取り入れ、3部昇格、そして3部優勝を目指して頑張りたいと思います。

やっっていてよかったと思うこと

私が部活動をやっっていて良かったと思うことは、部活動を通して心身共に鍛えられたこと、仲間や人との関わりを経験できたことです。卓球は精神面に重きが置かれるスポーツのため、プレーをする際の集中力や根気強い精神力が必要となります。試合では自分自身の気持ちとの勝負になり、思い通りにはならないこともありました。しかし失敗も成功も様々な経験をして、集中力や精神力を磨くことが出来ました。また、仲間は苦楽を共にし支え合う関係を築けていると感じます。さらに、OB・OGの方々とは、大学ならではの関わりなので大切にしたいと思いました。

OB・OGの先輩方へ一言

OB・OGの皆様方にはリーグ戦の応援を始め多方面で支えていただき今年度もとてもお世話になりました。部員一同より感謝を申し上げます。

今年度は男女ともに4部残留ということで、少し後悔がのこる結果となってしまいました。そこで、力はあるのに出しきれていない、団結力が足りないなどのアドバイスをいただいたので全員と一緒に練習する機会を作ったり、メニューを変えたりと練習について見直す良い機会ができました。ありがとうございます。おかげさまで練習はより良いものとなってきました。来年度は今年度よりも良い成績を出すことでOB・OGの皆様方の応援に応えていきたいと思っておりますので、今後ともご指導ご鞭撻のほどよろしく願いいたします。



スケート部

創立年 1962年

所属リーグ・連盟

アイスホッケー部門：東京都アイスホッケー連盟 / 関東大学アイスホッケーリーグ Division. IV

フィギュア部門：東京都スケート連盟

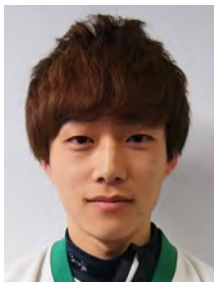
スピード部門：無登録

部員数 男子 18名 女子 12名



主将

石川 皓大



副将

石川 和馬



主務

坂本 航也

部活紹介

スケート部はスピード・アイスホッケー・フィギュア部門があります。現在はアイスホッケー部門のみの活動です。特にアイスホッケーは日本ではマイナーなスポーツですが、一度見たらその魅力がわかります。狭いアイスホッケー界に貢献できるよう、大学内でも広めていきたいです。



今年の活動報告

アイスホッケー部門：

秩父宮杯第66回関東大学アイスホッケー選手権大会 (Cグループ)

予選リーグ (C-1グループ)

vs 工学院大学 12-2 勝利

vs 東京理科大学 3-2 敗戦

順位決定戦

第3位決定戦 vs 千葉大学 1-0 勝利

結果 3位

関東大学アイスホッケーリーグ戦 (Division IV)

vs 埼玉医科大学 6-2 勝利

vs 東京学芸大学 0-2 敗戦

vs 成城大学 0-0 引き分け

vs 慶應大学医学部 3-0 勝利

vs 東京理科大学 0-6 敗戦

vs 獨協医科大学 1-3 敗戦

vs 獨協大学 4-3 勝利

結果 5位

フィギュア部門：休部中

スピード部門：休部中

意気込み

アイスホッケーの話になりますが、関東学生リーグ4部に所属しており、今年は3部への昇格を目標にしております。そのため今年は「大改革」をテーマに、北米・欧州最先端の練習プログラムを導入していきます。リーグ戦ご期待ください。

やっつけてよかったと思うこと

大学からスケート競技を始めることは、遅いと思う方が多いかもしれません。しかし社会人から始める人も実は多い競技なのです。皆が初心者から始めるため、個々の努力がそのまま実力として反映されます。成長を感じるにはとっておきの、とても新鮮なスポーツです。

新入部員の一年を通しての感想

毎年1年生が入部してくれて、初めてのスポーツに果敢にチャレンジしてくれています。去年の1年生はもとの身体能力も高く、現在もみるみると成長しています。今年からはリーグ戦の必要不可欠な戦力になるため、これからも頑張ってもらいたいです。

OB・OGの先輩方へ

スケート競技のなかでとくにアイスホッケーは現在衰退の道を進んでいます。実力はあまりないチームですが、ここ3年間で少しずつですが、ランクを上げています。さまざまな部の方々にも、興味があればぜひ観戦にきていただき、一緒にスケート界を盛り上げていただきたいです。



少林寺拳法部

創立年 1971年

所属リーグ・連盟 関東学生少林寺拳法連盟

部員数 男子3名 女子3名



主将

米原 幸太郎

部活紹介

練習を火、木、土の週三回行っています。部員数は決して多くはありませんが、だからこそ部員同士の関わり合いが深く、日々楽しく練習に励んでいます。

主将抱負

大会等で結果を残すことはもちろん大切かと思いますが、同時に部員一人一人が日々の修練を通し、それぞれのもつ目標を達成することが出来ればと思います。

今後も部員一同精進していきたいと思っています。

今年の活動報告

関東学生大会

関東学生新人大会

全日本学生大会



やっていてよかったと思うこと

部活をやっていてよかったと思うことは、少林寺拳法を通してたくさんの人たちと関われたことです。自分たちよりも一回りや二回りも歳の離れたOB・OGの先輩方に練習を教わることもあれば、全国の大学生と一緒に練習することもありました。

それらの関わり合いの中で少林寺拳法の技法だけではなく、多くの事を学ぶ機会になったと感じています。これからもこの部活を通し、たくさんの人と関わっていかれたらと思っています。

OB・OGの先輩方へ一言

いつも練習に足を運んでいただきありがとうございます。先輩方の厚い指導には部員一同とても感謝しています。

部員数の少ないこの部が活動できているのも先輩方の支えがあってこそだと思います。

これからも私たちは少林寺拳法の修行を通じ、心と体を鍛えていきたいと思っていますので、今後ともご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。



スキー部

創立年 1956年

所属リーグ・連盟 全日本学生スキー連盟 男子3部 女子2部

部員数 男子12名 女子1名



主将

加藤 崇仁



副将

田嶋 柚季



主務

篠原 大地

部活紹介

私たち武蔵大学スキー部は、本年度1年生4名、2年生4名、3年生2名、4年生3名の計13名で活動をしています。オフシーズンは週2回の陸上トレーニングを実施し、シーズンに向けて体力づくりに取り組んでいます。シーズン中は、全日本学生スキー選手権大会と四大戦に向けてアルペン競技・クロスカントリー競技のトレーニングをしています。また、個人のスキー技術向上のために練習を積んでいます。

主将抱負

今年度主将を務めさせていただいております、社会学部社会学科3年の加藤崇仁と申します。今年は、新入部員が4名入部し部の規模も前年に増して大きくなりました。また、アルペン競技だけでなく、クロスカントリー競技にも取り組んでいます。四大戦が公式種目として復活することもあり、部活にとって大きな目標ができたと思います。シーズンに向けて、部活・個人が成長していけるように頑張りますので、今後ともよろしくお願いいたします。

今年の活動報告

- ・熊の湯、峰の原にて合宿を実施
- ・全日本学生スキー選手権大会出場



新入部員の一年を通しての感想

私がこの1年間体育会スキー部で過ごし感じたことがあります。1年間過ごし、共に切磋琢磨してきた仲間と後輩が増え、自分達が築き上げたノウハウを教えてあげたいという気持ちも芽生えました。また、この部活を今後も盛り上げていきたいという目標もでき少しわかった気がしました。私は2年間この部活で励んでいくことになると思いますが昨日より今日、先月より今月、去年より今年が良くなるように取り組んでいきたいと思っています。

OB・OGの先輩方へ一言

OB・OGの方々には日頃から温かい指導や支援をいただき感謝しております。大会にただ出場するだけでなく、しっかりとした結果を残すことができるように、アルペン班、クロスカントリー班ともに日頃からの練習に力を入れていきたいと思います。また、今年は新入部員が4名入り、去年よりも部員の人数が増え、雰囲気もより賑やかになっているように思います。OB・OGの方々にはこれからもご指導ご鞭撻のほどよろしくをお願いします。

やっていたよかったと思うこと

私達スキー部にとって、雪のある数か月がシーズンになります。もちろん雪上での練習も大切ですが、スキーはオフシーズンの方が長いスポーツなので、雪のない時期をどう過ごすかによって雪上でのパフォーマンスが違ってきます。陸上トレーニングを中心として、昨年の反省を生かし次のシーズンへ自分をどう持っていくか考え、日々練習を行っています。



ワンダーフォーゲル部

創立年 不明 復部 2009 年
所属リーグ・連盟 無所属
部員数 男子 28 名 女子 6 名



主将
岡崎 祐太



副将
吉田 孝利



会計
鈴木 陽登

部活紹介

ワンダーフォーゲルとはクラブ、サークル活動の一環として登山、キャンプなどのアウトドア活動のことをいい、私たちは関東近郊の山を中心に活動しています。大学によってその活動は様々ですが、武蔵大学ワンダーフォーゲル部は「自然と触れ合い、運動、研究をすることにより心身ともに鍛える」という目標を掲げています。

今後の部活方針

残念ながら昨年度も天候に恵まれず、多くの部員とともに登山することができませんでした。今年度は昨年度に引き続き登山も行いますが、キャンプや合宿も企画しています。我が部の基本目標に加え、安全第一に部員全員が主体的に行動し、楽しみ、学ぶことを主眼において部を発展させていきます。

今年の活動報告

高尾山、日和田山、越上山、夏合宿、棒ノ折山



新入部員の一年を通しての感想

新入生ということで緊張していたのですが先輩方から気さくに話しかけてくださったので、同級生みんなと自然と会話できるようになりました。学部を超えた友人がたくさんできました。新入生歓迎のバーベキューなどもやり、そのなかで私たちに教えながらテキパキと準備や片づけを進めてくださったおかげで、アウトドアの知識が楽しく身につきました。そして共同作業をしていく中で部員同士の仲も深まってきました。

やっていたよかったと思うこと

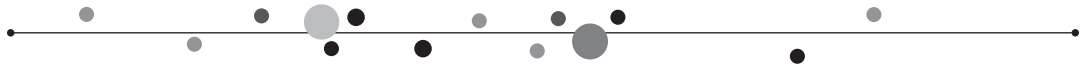
私たちがまだ新入部員の頃、初めてのワンダーフォーゲル部の活動でバーベキューに行った日のことです。まだお互い出会ったばかりで、アウトドア活動などしたことのない私たちはとても緊張していました。そんな私たちに先輩方は気さくに話しかけてくれて、とても楽しい時間を過ごすことができました。同時に手際よくバーベキューを行い、部員を力強く引っ張ってくれる先輩方に強いあこがれを抱きました。私たちがそんな先輩方に少しでも近づけるように精進していきます。

OB・OGの先輩方へ一言

日ごろ私たちのために、お力添えいただきまして誠にありがとうございます。現部長の岡崎祐太と申します。昨年度は本格的なキャンプやアウトドアにも用いることができる専門的な知識で新入部員を鍛えました。その知識をもとに部の伝統を継承しつつ、今年はフィジカル面の強化を狙い活動していくつもりです。今後とも指導ご鞭撻のほど宜しくお願い致します。



水曜会



硬式野球部
サッカー部
硬式庭球部 男子
硬式庭球部 女子
ホッケー部 男子
ホッケー部 女子
ラグビー部
洋弓部
アメリカンフットボール部
ラクロス部 男子
ラクロス部 女子
弓道部

硬式野球部

創立年 1952年

所属リーグ・連盟 首都大学野球連盟 1部

部員数 男子132名 女子2名



主将

佐野 駿介



副将

姫野 稜涼



副将

ヒンプルローレンス・ポール



副将

佐藤 拓真

部活紹介

私たち硬式野球部は、首都大学野球連盟に所属し、全日本選手権及び明治神宮大会出場を目標に活動しています。部員数は体育連合会に所属している団体で最多の130名を超える部員が所属しており、個人で立てた目標の達成に向け、日々、練習に取り組んでいます。活動頻度は、月曜日を除く週6日です。野球をとおして、チームのために何ができるのか個人で考えて行動し、お互いを高めあえることができる仲間と日々、練習に取り組んでいます。

今年の活動報告

春季リーグ戦 2部リーグ 優勝 1部昇格

秋季リーグ戦 1部リーグ 4位

主将抱負

硬式野球部主将の佐野駿介です。私たちは「全日本選手権及び明治神宮大会出場」を目標に日々練習に励んでいます。我が硬式野球部は2018年春季リーグ戦で2位だったものの、秋季リーグ戦で6位という結果に終わってしまいました。一年を通して、1部でも戦えるという意識は芽生えたものの、まだ弱さがあり、勝ちきれない試合が多くありました。その弱さを克服し、さらなるチーム発展のためにも、もう一度基礎から見直し、部員全員が今まで以上に自覚を持ち練習していく必要があると私は考えております。そして部員全員で「全国大会出場」という大きな目標を必ず達成します。



新入部員の一年を通しての感想

入部当初は、大学でどれだけ自分の力が通用するのかを試したいと思い入部したものの、先輩達との力の差は大きく、驚かされました。しかし、優しい先輩方が多く、野球面、勉強面において優しくご指導して頂きました。そして、目標に向かって努力している先輩方と一緒に全国大会出場という目標を達成するのが今の目標です。私は優しい先輩方のおかげで充実した大学生活を送ることができています。先輩方のように文武両道を目指して頑張っていきたいとおもいます。

一年間1部で野球をプレーして

今年一年、1部でプレーをしてレベルの高さを実感しました。その中でも春季リーグ戦において、2位という結果を出せたのは良かったです。しかし、秋季リーグ戦では、接戦を勝ちきれず6位という結果に終わってしまいました。一年を通して、悔しい思いをするシーズンでした。しかし、来季も1部という環境で野球ができるので、今年以上の結果をだせるように日々の練習に励んでいき、「勝てるチーム」を目指して頑張っていきます。

OB・OGの先輩方へ一言

いつも応援ありがとうございます。今年度一年を通して1部で野球をすることができました。春季リーグ戦では、目の前で優勝を逃してしまったものの2位という結果を出すことができました。秋季リーグ戦は6位となってしまいました。しかし、入れ替え戦で勝利をし、来季も1部でプレーする事ができます。今年一年は春、秋と悔しい思いをしました。来年は、部員全員で良い思いをするように、今まで以上に意識を高く持ち、練習に取り組んでいきたいと思えます。そして、今後も先輩方に良い報告ができるよう頑張りますので、ご支援、ご声援をお願い致します。



サッカー部

創立年 1949年

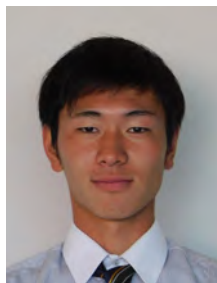
所属リーグ・連盟 東京都大学サッカー連盟 2部

部員数 選手45名 マネージャー13名



主将

佐々木 貴一



副将

廣川 大知



副将

長倉 昂哉



主務

齋藤 匠

部活紹介

サッカー部は東京都大学サッカー連盟に所属しており、現在東京都2部リーグで優勝し1部リーグへの昇格を目標に日々練習に励んでいます。活動日は、火曜日から金曜日は朝霞のグラウンドでランニングメニューやサーキットなど体力向上のためのトレーニングや実際の試合を想定したセットプレーなど実践型の練習を行い、土曜日は他大学と練習試合を行い、日曜日はリーグ戦や東京都トーナメント、新人戦などの公式戦を中心に活動を行っています。学生主体のチームではありますが、楽しい時は楽しく、やる時はしっかりと練習に励み、メリハリをつけ活動しております。

今年の活動報告

東京都大学サッカーリーグ戦2部

8位(2部残留)

東京都サッカートーナメント 学生の部 都学連予選

3回戦敗退

主将抱負

この度、前主将の下河原琢未に代わり、主将を務めさせていただくことになりました、佐々木貴一と申します。新体制では、副主将に廣川大知と長倉昂哉に決定いたしました。来年度もコーチのいない状態で、学生中心でやる方向でいます。

新体制になり、来年度の目標はもちろんリーグ戦優勝と昇格のみです。この目標達成のために上手いチームではなく、強いチーム、勝てるチーム作りを目指します。「優勝したい、昇格したい」ではなく「必ずする」と強い気持ちをもって1年間頑張っていきますので、応援よろしくお願い致します。



新入部員の一年を通しての感想

今までのサッカー人生の中で初めて袖を通した緑のユニホーム。新鮮な気持ちで私の大学サッカー生活は始まりました。慣れないことも多かったが、文武両道を目標に掲げ取り組んできて、様々なことを感じました。その中で一番大切だと感じたことは、時間の使い方。限られた時間の中で効率よく、部活、体のケア、勉強を両立することができました。これからの3年間もサッカーと勉強の両立を目標に頑張っていきたいです。

この一年間やりたいこと

抱負でも宣言したとおり、来年度は勝てる強いチーム作りをしたいと考えています。

今までは上手い選手がたくさんいる中でも、なかなか勝てない試合が多くありました。そこには甘さや、弱さなどが多くみられました。

なのでまずはそこからチームを改善していくために、新体制になってからはフィジカル強化に取り組んでいます。まだまだ改善もありますが、1年間を通して甘さや弱さがなくなるように取り組んでいきたいと思っています。

そして1年間取り組んだ事が、武蔵大学サッカー部のこれからの基盤になれば嬉しいと思います。

OB・OGの先輩方へ一言

OB・OGの先輩の皆様には、日頃から格別のご支援とご声援を頂き部員一同心から感謝しております。今年度から例年と変わり夏合宿を練習合宿にし、色々新しいことに挑戦できたのもOB・OGの先輩方のご支援のおかげです。遠方での対外試合や、雨などの荒天にもかかわらず試合を見に来てくださり応援して下さる方々のためにも、日々感謝を忘れずこれからも努力を怠らず目標に向かって精進してまいりますので、これからも応援よろしく願いいたします。



硬式庭球部 男子

創立年 1949年

所属リーグ・連盟 関東学生テニス連盟 7部

部員数 男子5名



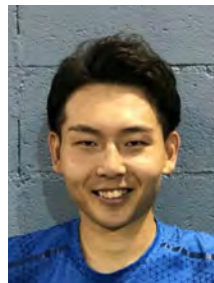
主将

小畑 慶樹



副将

澁谷 豪



主務

阿部 宗一郎

部活紹介

私達男子硬式庭球部は月・水・金・土曜日の週4日朝霞グラウンドで活動しています。部員数は現在5人と少ない人数ではありますがその分密度の濃い練習をすることが出来ます。特に今年は5面あるコートが2面分オムニコートになり、益々精が出る中リーグでの昇格を最大目標として、他校との対抗戦・四大戦で勝利出来るように日々練習しています。

主将抱負

男子硬式庭球部主将の小畑慶樹と申します。今年度のリーグ戦では何とか1勝をもぎ取る事が出来ましたが、昇格にはまだまだ遠い状態です。少人数の良さを生かし、お互いが主張し合いながらも高め合って、全員で勝てる存在になれるよう取り組んでいます。そしてリーグ昇格という目標を掲げる中で、勝つためのテニス出来るよう日々練習に励んでまいります。今後とも硬式庭球部への変わらぬご支援、ご声援の程よろしくお願い致します。

今年の活動報告

夏リーグ予選 2位



新入部員の一年を通しての感想

今年度入部させていただきました。経営学科平川洋好です。一年を通して男子硬式庭球部から学んだことはたくさんあります。テニスに関するプレーの技術は勿論ながら、主に事前準備や行動の早さなど、当たり前なのですが、その当たり前を誰もが主体的に行える素晴らしさを学び、体感し、心身ともに成長させていただきました。これからは伝統をより次世代に引き継げるよう「吸収」という言葉を大切に、邁進していきます。

OB・OGの先輩方へ一言

平素より、硬式庭球部へのお力添えありがとうございます。日頃の練習や試合、その他のイベントの参加などから多くの事を学ばせて頂いております。その活動もOB・OGの皆様のご指導やご鞭撻、ご支援のお陰であると感謝しております。これからもリーグ昇格という目標を基に、自らが出来ることに全力を尽くして参ります。OB・OGの皆様方におかれましては、今後ともご指導ご鞭撻の程よろしくお願い致します。

やっていたよかったと思うこと

私たち男子硬式庭球部は現在5人という少人数で活動しております。そのため、試合ではシングルス、ダブルスの両方に全員が出場しなければならぬ事や、練習での準備に時間を多くかけてしまう事など様々な面において不利になってしまいます。

しかし、部員全員が「リーグ昇格」という目標を掲げながら日頃の練習に励んでいます。人数の少なさを部員の想いでカバーし、来年度のリーグ戦では長年の夢である昇格を果たします。



硬式庭球部 女子

創立年 1949年

所属リーグ・連盟 関東学生テニス連盟 5部

部員数 女子5名



主将

下高原 汐里



副将

鈴木 ひかる



主務

佐野 薫

部活紹介

失礼致します。今年度主務を務めさせて頂いている社会学部社会学科3年の佐野薫と申します。私たち女子硬式テニス部は4部昇格を目指し、水土の週2日の義務練習に加え、金曜に自主練習を男子部と合同で行っています。今年度は、チーム力と戦力の強化を目標としています。練習中は全員で声かけをし、お互いに高め合っています。また、一人一人が真剣に楽しくテニスに取り組んでいます。他校のテニス部やOB・OGの方々とも合同練習などを通して交流できる事も魅力です。

個性豊かな仲間とともにテニスを頑張りましょう！

主将抱負

失礼致します。今年度から主將を務めさせて頂いております人文学部ヨーロッパ文化学科3年の下高原汐理と申します。昨年度は2年連続の決勝トーナメント進出を果たしましたが満足と言える結果ではありませんでした。今年度は一人一人が勝ちにこだわり内容、結果ともにベストを尽くします。

硬式庭球部は人数が少ないですが男子部や他の大学と協力して練習に取り組み充実した部活となっています。またOB・OGの方々の献身的なサポートのおかげでオムニコートに変わり、よりテニスをする環境が整いました。今後は新歓活動にも力を注ぎつつ自分達の向上にも努めていきます。



新入部員の一年を通しての感想

失礼します。経済学部金融学科1年橋本明香里と申します。硬式庭球部に入部してからの一年は初めての経験が多くとても濃いものでした。また、リーグ期間はチーム一丸となり切磋琢磨して練習する楽しさを感じることができました。これからも先輩のサポートをしつつ、戦力となれるよう日々精進したい所存です。

絆を感じた瞬間

失礼致します。今年度副将を務めさせて頂く経済学部経済学科2年の鈴木ひかると申します。日々の練習、何気ない時間で仲間との絆を感じます。辛い練習も励まし合う事で頑張れる、ライバルがいることで成長できる、そうした絆が試合でも生きてきます。夏リーグでは、全員で一致団結して決勝トーナメント進出をすることが出来ました。みんなでいろいろなものを乗り越えたからこそ、勝利した時の喜びは大きくなり、絆は深まると強く感じました。この絆を胸に頑張ります！

OB・OGの先輩方へ一言

失礼します。OB・OGの皆様におかれましては技術面経済面でのご指導等、多くのご協力に感謝しております。恵まれた環境の中、テニスに打ち込むことができるのもOB・OGの皆様のお力添えのお陰です。より良い結果を残して行けるよう日々精進して参りますので、今後ともご指導ご鞭撻の程宜しくお願い致します。



ホッケー部 男子

創立年 1951年

所属リーグ・連盟 関東学生ホッケー連盟 2部

部員数 男子22名 女子4名



主将

村上 太我



副将

岩井 優樹



主務

藤井 晴大

部活紹介

フィールドホッケーは、1チーム11人で先端の曲がった1メートルほどのスティックと硬いボールを使い、2チームが相手ゴールに向けて互いにそのボールを打ち込もうと競い合うスポーツです。コートはサッカーのグラウンドより少し小さめでゴールもフットサル程度の大きさです。オリンピック種目でもあり、世界中に普及しているスポーツです。非常にスピード感あふれるスポーツで、やるのも見るのも楽しいスポーツです。

主将抱負

第68期主将を務めております村上太我と申します。昨シーズンは春4位、秋5位という結果に終わりました。今シーズンは、2部優勝1部昇格を目指し、昨年から試合に出ていた選手中心となって練習に励み、常勝武蔵を掲げられるチームを作り上げていきます。応援よろしくお願いたします。

今年の活動報告

春リーグ 4位

秋リーグ 5位

四大戦 優勝

第17回全日本大学ホッケー大会 3位

第67回男子全日本学生ホッケー選手権大会
(インカレ) 出場



新入部員の一年を通しての感想

私は新歓でホッケー部の先輩方や同期の仲間たちに出会い、その雰囲気に関われ入部を決めました。最初は、わからないことがたくさんありましたが先輩方の指導のおかげで入部したころと比べると感じています。これからも練習を重ね、チームの勝利に貢献できる選手になりたいです。4月には後輩が入ってくるので、先輩方にしていただいたように技術などを教えていきたいです。

OB・OGの先輩方へ一言

OB、OGの先輩方には、日々の練習や試合を始め、夏のフェスティバルや冬の農大定期戦など様々なイベントへのご参加に加えて、平日頃からのあたたかなご支援を賜り、心より御礼申し上げます。2部で勝ち続けられるチームを作り上げるためにも、今後ともより一層のお力添えをお願い申し上げます。

やっていたよかったと思うこと

私は今まで部活をしてきて選手がチームの方針を決め、主体的な活動をするということがなかったのですが、ホッケー部に入部し選手が主体的に練習メニューなどを組んで活動に取り組む環境に出会いました。自分たちでやっているからこそその責任感や達成感を感じられました。故に勝利した時の喜びも最上級のものでした。今まで続けてきて本当によかったと思っています。



ホッケー部 女子

創立年 1982年

所属リーグ・連盟 関東学生ホッケー連盟 2部

部員数 女子 24名



主将

根岸 奈生



副将

阿部 早也花



主務

黒須 風花

部活紹介

女子陸上ホッケー部は、関東リーグに向けて週4回活動しています。部員全員が大学からホッケーを始めた初心者ですが、OGの方々の支えのもと、学生自らメニューを考えミーティングを行い練習に励んでいます。だからこそ、上達しないもどかしさも出来るが増えていく楽しさも全員で分かち合い、成長することが出来ます。今後もホッケーが存分に出来るこの環境に感謝しながら部員一同切磋琢磨していきます。

主将抱負

2019年度主将となりました根岸奈生と申します。女子陸上ホッケー部はここ2年結果が伴わず、苦い思いをたくさんしてきました。今期こそ、2部優勝1部昇格という長年の目標を必ず達成します。結果が全てではない、でも結果こそが喜びの種であり、周囲が喜ぶ種でもあります。勝ち進む楽しさをチームで味わう、そして今までお世話になった方々に結果で恩返しをする。その意味で“勝つホッケー”にこだわっていきたいと思います！

今年の活動報告

関東学生ホッケー連盟 春季リーグ2部 8位

秋季リーグ2部 7位

四大戦 優勝



新入部員の一年を通しての感想

女子陸上ホッケー部に入部して約1年が経ちました。入部したのがつい昨日に感じられるほど、あっという間に月日が過ぎてしまいました。同期や先輩、そしてOGさんとホッケーをしたり、お話をするうちに、陸上ホッケー部に入部しようと思った4月の頃に比べ、ホッケー、そして人間的にも大きく成長したな、と実感をしています。これから2年生になるに当たり、チームの勝利に貢献できるよう、日々努めていきたいと思います。

OB・OGの先輩方へ一言

今年もお忙しい中、たくさんの先輩方に練習や試合の応援にお越しいただきました。また、キーパーの防具や不足品の支援もしていただいたおかげで、日々の練習がとても充実したものとなりました。私たちが今日活動できているのは、諸先輩方のご支援、ご協力のおかげです。これまで先輩方に教わったことを活かし、必ず良い結果が出せるよう、さらに精進してまいります。今後ともご指導ご鞭撻のほどよろしくお願ひします。

やっていてよかったと思うこと

私たちはリーグ戦のために日々練習に励んでいます。時には上手くいかず、チームメイトとぶつかったりもしますが、どんな時でも一番近くにいるのは仲間です。そんな仲間とボールを繋いでゴールが決まった後、喜びを分かち合う瞬間に、みんなが同じ気持ちでいることに気づき、同じ目標を目指してきて良かったと強く思います。また、試合で戦い抜いた後に満足そうな表情をしている仲間はとても輝いていて、チームの絆を感じます。



ラグビー部

創立年 1958年

所属リーグ・連盟 関東大学ラグビー 対抗戦Bグループ

部員数 男子43名 女子7名



主将
小峰 一真



副将
長谷部 時弥



主務
三浦 優真

部活紹介

体育会ラグビー部です。主に朝霞グラウンドで活動しています。

私たちは、1986年より関東大学ラグビー対抗戦グループに正式加盟し、現在Bグループ（8チームによって構成）に所属しております。

部員数は60名で、対抗戦Aグループ昇格を目標に日々の練習に励んでいます。

今年の活動報告

1勝1分5敗

主将抱負

昨シーズンは、1勝1分5敗という結果に終わり、目標の対抗戦Bグループ優勝、Aグループ昇格という目標を達成できずに終わりました。来シーズンAグループに昇格するためには、部員一人一人が自覚を持って練習に取り組み、今年以上に努力し続けなければなりません。部のスローガンである「規律と基本」をグラウンド内外でも体現して、今年の悔しさを常に忘れずに、Aグループ昇格に向けて精進していきたいと思います。

小峰一真



武蔵大学ラグビー部での一年

私はこの1年間とても多くのことを学ぶことができました。初めての事だらけの大学生活でしたが、楽しい同期や優しい先輩に何度も助けられ、楽しい日々を送ることができました。自分自身この一年はケガが多く練習や試合をあまりしていませんが、来年はケガをせずにラグビー生活を送り、チームに貢献することができるよう頑張ります。

柴田むつき

OB・OGの先輩方へ一言

シーズンを通して、応援や援助などたくさんのサポートをありがとうございました。

皆様のサポートのおかげで、日々の練習に取り組むことができています。

これからも武蔵大学ラグビー部への応援・ご支援をよろしくお願い致します。

感謝

私たちが日々、ラグビーに打ち込んでいるのは多くの人の支えがあるからです。

指導を下されるコーチやスタッフの皆様、支援を下されるOBの方々、日々のサポートをしてくれるマネージャーやトレーナー、そして一番近くで支えてくれている家族、その多くの人への感謝を忘れずに一生懸命ラグビーに打ち込みたいです。また、支えて下さる皆様に結果で恩返しができるよう、チーム一丸となって頑張ります。



洋弓部

創立年 1963年

所属リーグ・連盟 関東学生アーチェリー連盟 3部

部員数 男子23名 女子11名



主将

加藤 陽向



副将

大田 友里恵



主務

柳澤 樹

部活紹介

大学でのアーチェリーは主にアウトドアターゲットアーチェリーという競技形態で、50m、30mの各距離で36射、計72射の720点満点での点数を競います。団体戦では4人から8人のチーム戦で男子はチームの上位6名、女子は上位4名の合計点を競い合います。毎年春に行われる関東学生アーチェリー連盟主催のリーグ戦と、秋に行われる四大戦がメインのイベントになるため、この二つの試合を目標にして練習をしています。

主将抱負

アーチェリー部では個人戦よりも団体戦を重視してチームとしての力を強化させることを目的としています。チームとしての平均点数を上げて競争意識を生み出しさらにより点数を出していきたいです。アーチェリー部は去年2部リーグへの入れ替え戦に出場することができましたが2部に昇格することができませんでした。今年は2部リーグに上げられるように部員全員で精進してまいります。

今年の活動報告

男子リーグ戦2部への入替戦出場

女子リーグ戦3部への降格



新入部員の一年を通しての感想

中高では別の部に所属していて、大学に入って初めてアーチェリーという競技を経験して心身共に成長できたと感じております。大学という新しい環境で新しい競技をやるということは、なれるまでに時間がかかりましたがそういったことを含めて実りのある一年だったと思います。OB、OGの方と接する機会もあり礼儀についても身に着けることができました。勝てる選手になるように練習していきます。

OB・OGの先輩方へ一言

OB、OGの先輩方には日頃から、試合や新歓活動、その他さまざまなイベントでサポートしていただき、ありがとうございます。資金の援助や就職活動のご指導など、部活以外の面でのサポートも親身にしていただき、とても感謝しています。この感謝の気持ちをもって練習に取り組みリーグ戦でよい報告ができるように精進してまいります。今後とも暖かいご支援のほどよろしくお願いします。

やっていてよかったと思うこと

部活動を通じてOB、OG、さらには他大の選手と交流することで礼儀を身につけることができました。また、競技の特性から実力が点数に現れるので目標が立てやすく日々の進歩を感じることができます。練習の成果が点数に現れたときや試合に勝った時の達成感やチームの一体感やたくさんの人に応援してもらえることは、何事にも代えがたいものだと思います。



アメリカンフットボール部

創立年 1970年

所属リーグ・連盟 関東学生アメリカンフットボール連盟 3部

部員数 男子30名 女子16名



主将

吉田 昂平



副将

吉田 卓未



主務

森 弦矢

部活紹介

アメリカンフットボールはアメリカで生まれ、アメリカ国内で非常に人気のあるスポーツです。激しいコンタクトに目が向けられますが、多くの戦術を作るなどの頭脳面も重要です。

つまりアメリカンフットボールは強靱な肉体と優れた頭脳が求められるスポーツです。

次に私たちの活動についてです。私たち武蔵大学アメリカンフットボール部は、武蔵大学朝霞グラウンドを本拠地に週5日活動しています。他大学のアメリカンフットボール部に比べ人数は少ないですが、少ない人数でいかにして勝つかを考えながら練習に励んでいます。

今年の活動報告

四大戦 4位

秋季リーグ 0勝7敗

主将抱負

昨年度はリーグ戦全敗、3部リーグ降格という非常に悔しいシーズンとなりました。チームに何が足りないのかを考え、去年の反省を踏まえてチームを作っていくと考えています。そして1年での2部リーグ復帰を必ず果たすべく努力を惜しまない所存です。全員が同じ目標に向かい、切磋琢磨しながら成長するというようなチームを作りたいと思います。



新入部員の一年を通しての感想

新しいことに挑戦したくてアメリカンフットボールというスポーツを選びました。このスポーツは準備が大切なスポーツだということがわかりました。相手を分析し、有効プレーを考えることなど細かいところまで詰めるといった経験は新鮮でした。また1年生から試合に出る機会をいただき非常に楽しかったです。もっと成長してチームに貢献できるようになりたいと思う1年でした。

OB・OGの先輩方へ一言

昨年度も多くのご声援ありがとうございました。差し入れや練習に参加してくださるなど多くの場面でチームを支えていただきました。昨年は多方面でご協力していただいたにもかかわらず不甲斐ない結果に終わってしまいました。必ず1年で2部に戻るためチーム一丸となって、一層努力して行きます。今後ともご支援ご鞭撻のほどよろしくお願いたします。

やっていてよかったと思うこと

学生主体で活動しているため、命令されたことをそのままやるという場面はあまりありません。そのため自分がいま何をすればチームの役に立つのかと自ら考え行動する力が身に付きます。また日々同じ目標に向かって切磋琢磨する仲間に出会うことができます。練習自体は苦しいことが多いかもしれませんが仲間が一緒ならば確実に乗り切れます。この仲間たちに出会えたことは一生の財産だと思います。



ラクロス部 男子

創立年 1989年

所属リーグ・連盟 日本ラクロス連盟 1部リーグ

部員数 男子58名 女子14名



主将

加藤 修人



副将

中塚 航平



副将

蓮見 航太

部活紹介

私たち男子ラクロス部は、月・水・木・土・日の週5日で活動しています。平日は江古田の武蔵高校のグラウンドを貸して頂き、6時半から8時まで朝練をしており、土日は朝霞グラウンドで10時から14時まで練習しています。ラクロスという競技は、大学から始める、初心者の方が多く、日本代表や関東の選抜チームに多く選出されています。新しいスポーツで自分の才能を開花させられます。

主将抱負

武蔵大学男子ラクロス部の目標は、学生王者です。関東リーグで優勝してから、各都道府県のリーグの優勝チームに勝利し、学生のチャンピオンになるという目標です。昨シーズンは、入れ替え戦の末、1部リーグに残留することができました。今年は、スローガンとして、『考動』をスローガンに掲げ、一日も無駄にせず先輩達が積み上げてきたものをしっかり繋げていきます。



新入部員の一年を通しての感想

私は新歓期間に熱く勧誘されラクロス部に入部しました。ラクロスはまだマイナーな競技ですが、この一年を通してラクロスにはほかの競技に劣らないほどの魅力があると感じました。また、他の競技とは違い日本全国的にラクロス始める年齢が大学に入ってからが圧倒的に多いところも魅力の一つであると思います。そのため、上を目指そうと思えば、必ずしも手の届かないところにはないということです。

また、部活なので辛いこともあります。朝が早く始発で来る人もいます。ですが、そのような思いを共有しているからこそその人間関係があると私は思います。互いに協力し、高め合い、勝利を一緒に目指す仲間は唯一無二の存在であると思います。そんな仲間に出逢えたことを感謝し、残りの3年間で最高のチームを作り上げていきたいと思っています。

今年の活動報告

孺恋カップ	優勝
2年生新人大会	優勝
1年生新人大会	準優勝
リーグ戦	1勝1分3敗 5位
入れ替え戦	勝利 1部残留

OB・OGの先輩方へ一言

OB,OGの皆様平素より武蔵大学男子ラクロス部への盛大な応援や支援ありがとうございます。昨年度の1部残留という結果は皆様方の支援なしでは達成することは出来なかったです。武蔵大学の大きな目標である、学生王者を達成するには、これからも、皆様のご支援が必要になります。今度ともよろしくお願いします。

やっていたよかったと思うこと

部活独特の雰囲気をもう一度、味わうことができる場所がラクロス部にあります。もう二度と経験することが出来なかった。応援がある中での試合。これから先、たくさんの人が応援してくれている環境で、試合ができることはほとんどの人がないと思います。応援してくれている人がたくさんいる、あの独特な雰囲気の中で試合が出来たこと、またその雰囲気の中、活躍できた時にはやっていたよかったと思います。



ラクロス部 女子

創立年 不明

所属リーグ・連盟 日本ラクロス連盟関東支部 3部

部員数 女子 25名



主将

高館 彩綺



副将

中野 初紀



主務

三上 葵

部活紹介

私たち女子ラクロス部は、関東学生ラクロス3部リーグに所属しています。練習は週4日行っていて、2部昇格を目標にしています。部員数は25名と少ない人数ですが、少ない人数だからこそ、部員一人一人が武蔵の代表ということを感じ、個人が立てた目標やチーム目標達成に向け日々活動しています。ラクロスを通して、お互いを高めあえる仲間と過ごせる環境が整っており、人間的にも成長できる場所だと思います。

主将抱負

女子ラクロス部主将の高館彩綺です。私たちは『2部昇格』を目標に練習に励んでいます。私が1年生の時から2部昇格を掲げてきましたが、未だに2部との入れ替え戦まで手が届いていない現状です。そんな現状を変えるべく、スローガンに『打破』を掲げました。人数が少ないからこそ一人一人が自分と向き合い‘打破’し続ける、そして武蔵の今までの現状から‘打破’し、2部昇格するという意味が込められています。このスローガンを胸に2部昇格を勝ち取ります。

今年の活動報告

ブロック戦

- ・ 1戦目 VS 成城 4-9 ●
- ・ 2戦目 VS 茨城 15-4 ○
- ・ 3戦目 VS 一橋 5-8 ●
- ・ 4戦目 VS 東洋英和 7-9 ●

ブロック4位 3部残留



新入部員の一年を通しての感想

入部して最初のころは朝が早く大変でしたが、今はその生活にも慣れ、学生生活との両立もできてきました。初めてラクロスというスポーツに触れ不安なこともありましたが、先輩方のサポートのおかげで同期と切磋琢磨し、楽しく活動できました。また、1年生の大会では、あまりいい結果を残すことができず悔しい思いもしましたが、全員で目標に向かって頑張ることができました。今期は自分たちがチームを勝たせられるように頑張ります。

やっていたよかったと思うこと

日々の練習は決して楽しいことばかりではなく、悔しいことや辛いこともたくさんあります。楽しいことよりも多いかもしれません。しかしそれでも練習し続けるのは、できなかったことができるようになった時、仲間と最高のプレーができた時、そしてチームが勝った時、これは何にも変えられない瞬間を味わえるからです。この瞬間のために、悔しいことや辛いことに向き合い続けることができるのです。こんな瞬間を味わえるのも学生のうちだけだと思います。真剣にやっているからこそ、悔しくも辛くも楽しいも感動も味わえるのだと思います。その中で出会った仲間は自分にとって財産です。

OB・OGの先輩方へ一言

OGの皆様、日頃よりたくさんのご支援、ご声援をいただき部員一同、心より感謝申し上げます。昨シーズン成し遂げられなかった2部昇格を、今年こそ成し遂げられよう部員全員が今まで以上に意識を高く持ち、練習に励んでまいります。今後ともご支援、ご声援をよろしくお願いします。



弓 道 部

創立年 2004 年

所属リーグ・連盟 東京都学生弓道連盟 男子V部リーグ 女子IV部リーグ

部員数 男子 11 名 女子 10 名



主将

尾中 優希



副将

橘 啓人



主務

宇野 桜

部活紹介

大学弓道は、端的に言えば「28メートル先にある直径36センチの的に矢をどれだけ当てることができるか」というものである。

こういう競技の特性上、大学弓道というものにはほかのほとんどの競技には存在しない「上限」というものが存在する。要は、自分の放つ矢をすべて当てれば絶対に負けないのである。

その「上限」に到達するために、限られた時間・期間で試行錯誤することが大学弓道の醍醐味であり、魅力であると考えている。

今後の部活方針

部員の数現在非常に少ないので、まずは4月の新歓を何としてでも成功させていきたい。また、今年のリーグ戦で男女ともにリーグ戦ブロック準優勝という結果に終わったので、来年はブロック優勝、そしてその先のリーグ昇格に向けて部員一丸となって練習していく。

今年の活動報告

第48回全関東学生弓道選手権大会

男女ともに出場

第66回全日本学生弓道選手権大会

女子ベスト16

男子個人決勝進出(一名)

女子個人出場

平成31年度リーグ戦 男子V部Cブロック
準優勝

平成31年度リーグ戦 女子IV部Aブロック
準優勝



新入部員の一年を通しての感想

今年の新入部員は男女ともに2名ずつの計4名となった。人数が少なく上手くやっていってくれるか不安だったが、今では部にもなじめており、練習も積極的に行ってきているので、非常に安心している。

来年には後輩も入ってくるので、精神的にも実力的にも後輩をいい意味で引っ張っていけるよう、今まで以上に努力して行ってほしい。

絆を感じた瞬間

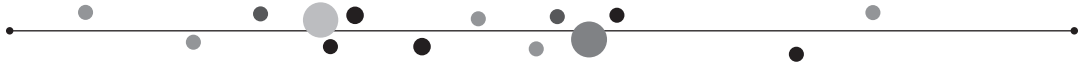
これは執筆者個人のことになるが、今年のリーグ戦において、皆中賞というものを獲得することができた。これは一回の試合での的中率が100%だったことを証明するものだ。この賞を獲得したことで、弓道を初めて8年間見えてこなかった「上限」というものが少しだけ見えてきた。来年は、一応大学弓道最後の年である。あと一年足らずでこの「上限」に到達できるよう、精一杯やっていこうと思う。

OB・OGの先輩方へ一言

来年は、今年の結果をさらに越していき、歴代最高の結果が出せるよう、部員全員で頑張ってくださいますので、今後ともご指導ご鞭撻のほどよろしくお願いいたします。



金曜日



バスケットボール部 男子
バスケットボール部 女子
バドミントン部
バレーボール部 男子
バレーボール部 女子
ハンドボール部

バスケットボール部 男子

創立年 1953年

所属リーグ・連盟 関東大学バスケットボール連盟 4部

部員数 男子11名 マネージャー5名



主将
渋谷 駿



副将
宇都田 大成



主務
佐藤 優衣

部活紹介

私たち男子バスケットボール部は、プレイヤー11人、マネージャー5人で週に5日楽しく活動しています。人数は非常に少ないですが、リーグ戦では5部全勝を目標に掲げ日々の練習に取り組んでいます。先輩後輩の関係が深く、お互いを高めあえるところが私たち、チームの強みです。バスケだけに限らず、私生活の面でも成長できるのが男子バスケットボール部です。

主将抱負

男子バスケットボール部主将の渋谷駿です。昨シーズンは怪我に悩まされ連敗を数多く経験した悔しいシーズンでした。リーグ戦も当初の目標を達成出来ず、5部降格という結果になりました。今シーズンはその悔しさを糧に一人一人が主体的になり、切磋琢磨し勝てるチーム作りをしていきたいです。5部優勝、四大戦優勝を目標に頑張っていきたいと思います。今後ともご声援のほどよろしくお願い致します。

今年の活動報告

リーグ戦4部19位 4部残留



新入部員の一年を通しての感想

男子バスケットボール部は本気でバスケットをしたい人たちが集まっており、先輩後輩問わず意見を言い合えるような、とてもいい雰囲気部の部活だと思入部しました。他大学のチームと比べると、人数も少なく明確な指導者も不在でしたが、その分一人一人がどのようなチームを目指すかを常に考え、それを実行に移す努力をする習慣がついていたため、この部で過ごすことで人間的にも成長できたと思います。

昨年のリーグ戦では接戦での敗北もあり、悔しい思いもあったので今年こそは目標達成できるように努力を重ねていこうと思います。

やっていてよかったと思うこと

この部に入ったことで、「人間として成長している」と感じる事ができています。それは16人という小さな組織ではありますが、自分の立ち位置をしっかりと理解し、その組織に対して自分がどのように貢献出来るのかと常に感がるようになったためです。ただ組織に属するだけでなく、自らの力で貢献できることを探せる環境が男子バスケットボール部には備わっていると感じています。

OB・OGの先輩方へ一言

OB・OGの先輩方、毎度たくさんのご支援、ご声援ありがとうございます。今シーズンは昨年の悔しさを糧により一層バスケットボールに真剣に取り組んで行きたいと思います。そして、支えてくれる人への感謝の気持ちを忘れずに、多くの方から応援していただけるチームを目指し日々精進してまいります。まだまだ至らない点が多くあると思いますが、その都度OB・OGの皆様にはご指導ご鞭撻のほどよろしく願い致します。



バスケットボール部 女子

創立年 不明

所属リーグ・連盟 関東大学女子バスケットボール連盟 4部

部員数 女子7名（プレーヤー5名 マネージャー2名）



主将

石神 祐希乃



主務

金 麻由

部活紹介

私たち女子バスケットボール部は二年生二人、一年生二人、引退した三年生三人の計七人で日々活動しています。部員数は少ないですが、オンオフの切り替えと楽しさを重視した効率の良い活動をモットーに短い時間でも集中して練習に取り組んでいます。それぞれの友人を連れて練習したり、練習試合を組んだりするのでバスケットを通じて交友関係を広げることができます。

主将抱負

存在の大きかった先輩方が引退して、技術面でも不安なところがありますが、同期や後輩と相談してみんなで一緒にチームを作り上げていきたいと思っています。今まで先輩方が築き上げてきて下さった伝統に「私たちがらしさ」を加えて、練習内容も一新し、決めた目標に向かって全員で進んでいきたいと思っています。また主将として、プレーの面でも精神面でもチームの軸となるよう私自身も成長していきたいと思っています。

今年の活動報告

リーグ戦 4勝3敗で4部残留

四大戦 3位



新入部員の一年を通しての感想

私は部活全体が仲良く、楽しそうにしている様子が惹かれ入部しました。入部後は試合に出場する機会を何度も頂きましたがチームに貢献できず悩むことが多かったです。しかし先輩方はそんな私を責めず沢山のアドバイスや励ましの言葉をかけ、時に自分の意見を聞き出してくださり恵まれた環境でプレーできたことに感謝しています。先輩という立場になるにあたり試合や良い雰囲気での部活であり続けることに貢献できるよう努力していきます。

やっっていてよかったと思うこと

女子バスケットボール部に入部してもう一年半が経ち、振り返ってみると同期、先輩、後輩に恵まれたと思います。唯一の同期はマネージャーでどんなことでも相談できる仲でいつもチームのために尽くしてくれます。先輩は優しくなおかつユーモアがあり、チームを和ませてくれます。後輩は真面目でチームのこれからの方針を相談しても真剣に考えてくれるとてもかわいい後輩です。関わった全ての人々に感謝の気持ちを持ち、恩返しをしていけるようにこれからも大切な仲間と一緒に成長していきたいと思っています。

OB・OGの先輩方へ一言

武蔵大学の先輩方であるOG、OBの皆さまにおかれましては、いつもひとかたならぬご厚情を賜り誠にありがとうございます。試合にも遠いところ足を運んでくださって、激励のお言葉を頂き、心から感謝しております。支えてくださる皆様に恩返しができるよう頑張ります。今後ともご指導ご鞭撻のほど宜しくお願いいたします。



バドミントン部

創立年 1965年

所属リーグ・連盟 関東学生バドミントン連盟 男子5部 女子5部

部員数 男子13名 女子5名



主将

小沼 怜史



主務

大村 洸平

部活紹介

私たちバドミントン部は、月・水・木・土曜日の週4日で活動しています。バドミントンという競技は、ネットを隔て2つに分けられたコートを使い、シャトルをラケットを使って打ち合い、得点を競うスポーツです。部活動の雰囲気はとても良く、オンとオフの切り替えがしっかりしています。また、年2回のリーグ戦や新人戦など大会も充実しています。人数が少ないからこそお互いに切磋琢磨し合い、精進していきたいと思います。

主将抱負

主将として部員を引っ張っていかなければならないことは当たり前のことですが、部員から「なぜ?」「どうして?」と疑問を持たれないような一貫性のある部活にしていきたいと思います。何に向かって練習しているのか、どうしてこの練習をするのか、部員全員が同じ目標に向かっていくことが大切であると思います。明るく、楽しく、そして強くなるための環境作りを主将中心に全員で作っていききたいと思います。

今年の活動報告

春季リーグ

男子5部 5位

女子4部 6位

秋季リーグ

男子5部 3位

女子5部 4位

四大戦

男子 3位

女子 3位



新入部員の一年を通しての感想

武蔵大学バドミントン部に入部して1年が経ちましたが、全体的に雰囲気も良く、上下関係もそこまで厳しくないのが楽しく部活動ができています。練習時間は週4回となっていて部活動と勉強やアルバイトの両立もできるのが良い点だと思います。最初は部活動にしようかサークルにしようか迷っていましたが、大会などの目標に向かって練習することにやりがいを感じることができたので部活動に入って良かったと思っています。

OB・OGの先輩方へ一言

OB・OGの諸先輩方には日頃から大変お世話になっております。代交代も無事に終え、新しい武蔵大学バドミントン部として4部昇格、四大戦優勝という目標に向かって精進していきたいと思います。年々、バドミントン界がレベルアップしている中で経験が少ない私たちが勝ち上がる為には皆様のサポートも大切であると感じています。これからもご指導、ご鞭撻のほど宜しくお願い申し上げます。

やっていたよかったと思うこと

年々、バドミントン界がレベルアップしている中で大会で勝った時の喜びはやはりやっていたよかったなと思います。サークル、アルバイト、遊びなど部活動をしない人がたくさんいる中で敢えて部活動に入り、勝つ為に練習をし、その成果を大会で発揮する。その喜びと達成感は半端なく嬉しいことだと思います。個人的には、リーグ戦で勝ってチームに貢献できた時とシードの選手に勝った時はやっていたよかったと思いました。笑

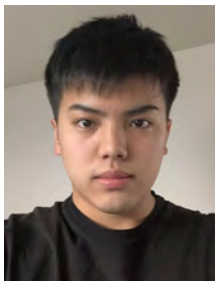


バレーボール部 男子

創立年 1962年

所属リーグ・連盟 関東大学バレーボール連盟 6部

部員数 プレイヤー 15名 マネージャー 4名



主将

増子 和希



副将

樋口 巧

部活紹介

近年男子バレーボールは漫画、アニメの影響や全日本の石川祐希選手、柳田将洋選手の活躍もあり注目されております。テレビでバレーの試合などを見ていると、スパイクを決めればポイントが入るといふ風に考えがちですが、バレーボール自体のルールはとても簡単で、地面にボールを落とさなければ良いのです。点数をとる競技というより、相手に点数を取らせない競技です。そのためには声かけなど、チームワークがとても重要になってきます。我々は、常に上を目指し努力をしておりますが、その中で「楽しむ」ということを忘れずに練習に取り組んでおります。

今年の活動報告

四大戦 4位

春季リーグ 6部リーグ残留

秋季リーグ 6部リーグ残留

主将抱負

主将抱負といたしまして、今年度はリーグ戦、四大戦ともにとっても満足のいく結果ではありませんでした。今年度チームの主力であった2年生が来年度からは部内の最高学年である3年生に上がることから、いい結果が見込めると思うのでリーグ昇格、四大戦優勝を目指したいと思います。昨年と同様に今年度もプレイヤーの数が9人と人数が少ないですが、人数が少ないからこそチームワークを大切にし、これを武器に選手マネージャー一丸となって取り組んでいこうと考えております。



新入部員の一年を通しての感想

部活に入ってよかったと思うことは毎日の生活がより充実したものになったことです。

たしかに部活と勉強、バイトをそれぞれ十分にこなすのは非常に大変ですが、上手く時間をやりくりし、それら全てに満遍なく力を注ぎそれぞれで結果を残せば大きな達成感を得ることができ、これから先の自信にも繋がると思います。

部活動を通じこれからもメリハリある日々を送れるように頑張ります。

1年を通して私は「時間は有限だ」ということに気がつきました。大学生になり親から離れ、自由な時間が増えるにつれて自分の好きなことだけして嫌いなことは避けるようになってしまい「自分はこのままでいいのか」と思ったため部活に入りました。

部活に入り忙しい日々を過ごすに連れて限りある時間をうまく使い分けができるようになり今では毎日が充実しています。

OB・OGの先輩方へ一言

いつも多大なるご支援ご鞭撻のほどありがとうございます。日々不自由なく練習に取り組むことができいておりますのは、OB・OGの皆さんのご支援のおかげでございます。今年度から主将を努めさせていただき、OB・OGの偉大さを日々痛感するばかりであります。昨年、5部昇格を果たせなかった悔しさを胸に、選手マネージャー同一丸となり、一層努力し5部再昇格に向け練習に励んでいきたいと考えております。今後ともご支援ご鞭撻のほどよろしく願います。

絆を感じたこと

リーグ戦で負けている時、どうしても声がなくなり、ムードが悪くなってしまいます。しかしバレーというのは攻守がすぐ変わるので、ファインプレーなどが出ると一気にムードを取り戻し、逆転することができました。その瞬間に私は「絆」というものを感じ、よりチームワークを築くことに専念したほうが良いと感じました。チームの雰囲気、ムードはそのスポーツにでも関係はあるかと思いますが、バレーボールはより「流れ」というものに勝敗を左右されやすいです。

あの瞬間をいつでも出せるように、日々声かけを怠らないようにいたします。



バレーボール部 女子

創立年 1976年

所属リーグ・連盟 関東大学バレーボール連盟 5部

部員数 女子6名



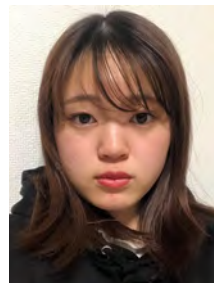
主将

松崎 紗良



副将

斎藤 涼紗



主務

野村 奈生

部活紹介

私たち女子バレーボール部は、火曜・水曜・金曜・土曜日の週4日で大学体育館にて活動しています。人数は少ないですが、1人1人確固たる目標と、チーム全員同じ目標に向かって短く限られた時間の中で切磋琢磨し、メリハリのある練習を行っています。練習メニューは適宜部員が意見を出し合って、幹部中心に決めていき、よりよい練習かつ効率の良いものを取り入れています。春、夏休みに校内合宿と遠征合宿も行っています。

主将抱負

主将の抱負といたしましては、秋季リーグでいい結果を残すことができなかったのもまずは4部昇格を確実に目指し、4部で満足せずに3部昇格を最終目標として常に上を目指します。人数が少なく、練習も限られてきますが逆にいい意味で捉え、個々のレベルアップと共にチーム力をより一層高め、一丸となって練習に励んでいきたいと思います。試合の応援にもぜひ足をお運びいただければと思います。何卒応援のほど、よろしくお願い致します。

今年の活動報告

春季リーグ戦 5部 10位 残留

秋季リーグ戦 5部 9位 残留

四大戦 3位



新入部員の一年を通しての感想

練習メニューを考えていた時に、1年生である私に意見を求められたことに驚きました。高校の部活動の時とは大きく異なり、「自分たちで練習もチームも作り上げている」という印象が強いです。そのため、試合で勝利したときの達成感は一段と強く感じられます。ギリギリの人数で誰一人としてかけることができない状況は大変ですが、せっかくの大学生活をより有意義にするために、今後も練習を精一杯頑張ろうと思います。

やっていてよかったと思うこと

新歓の際、部活は高校までで十分…という声を多く聞きました。確かに、勉強やアルバイトに忙しい大学生活に加え、部活は時間的にも体力的にも苦しいものがあります。しかし、一致団結して練習を乗り越え、試合で勝利し結果を残すことができた時の達成感や感動は、大学生活をより充実させてくれると思います。長い時間を共有したことにより生まれる仲間との固い信頼関係は、一生の財産と誇りになるのではないかと感じています。

OB・OGの先輩方へ一言

OG・OBの方々にはお忙しい中、練習に来ていただき、ご指導と多大なお心遣いをいただいております。

少人数の為練習は限られていますが、先輩方のご協力により試合を想定した練習ができます。この場を借りてお礼申し上げます。ありがとうございます。部員一同団結し、練習に精進していきます。今後ご指導・ご鞭撻の程よろしくお願い致します。



ハンドボール部

創立年 1973年

所属リーグ・連盟 関東学生ハンドボール連盟 7部

部員数 男子17名 女子4名



主将

井上 優哉



副将

根岸 大樹



主務

清本 麻緒

部活紹介

ハンドボールは1チーム7人のチームが互いに手を使い、ボールをパスして相手のゴールに投げ入れて勝敗を競うチームスポーツです。基本的に試合は30分の前後半からなり、より多くゴールを決めたチームが勝ちます。日本語では送球(そうきゅう)とも呼ばれたりしています。試合展開は非常に速く、体の接触も激しいです。1試合にそれぞれのチームが、多くのゴールを決め合うので、20から30のゴールを決めます。

主将抱負

昨秋のリーグ戦では全勝で優勝し、昇格する事ができました。主将を務めさせて頂く私としては、嬉しい気持ちはもちろんですが、新チームとして果たしてうまくやれているのかという不安があります。先輩方が引退して現在部には7人しかいません。この少ない人数でリーグ戦を戦い抜けるのか、勝てるのか、今から不安で仕方ありませんが、一生懸命練習に取り組む部員も多くいます。不安は多くありますが、来春のリーグ戦で1つでも多くの勝利を挙げられるようチーム一丸となって練習や試合に臨んでいきます。

今年の活動報告

春季リーグ戦 4勝1敗

入れ替え戦出場決定戦 1回戦敗退

秋季リーグ戦 5勝

入れ替え戦出場決定戦 優勝



新入部員の一年を通しての感想

私は大学からハンドボールを始めました。ハンドボールはスタミナ、スピード、パワーなど多様な運動能力を使う非常に難しいスポーツです。入部してから4月で1年になりますが、まだまだ分からないことや上手くいかないことが多くあります。しかし、チームが勝利した時は、この部活に入って良かった。と思える事ができます。今後もチームの勝利、そして貢献できるようにレギュラーを目指して頑張っていきたいと思います。

OB・OGの先輩方へ一言

OB・OGの先輩方には日々の練習のサポート、OB会のご参加、その他多くのご支援に感謝申し上げます。今後とも練習だけでなく、春秋リーグ戦などにも足を運んで頂けると私達もより一層気合いが入ります。まずは来春のリーグ戦で1つでも多くの勝利を挙げられるよう精進していきますので、これからもご支援よろしくお願ひします。

部活に入っていて良かったと思えた瞬間

この部活に入っていて良かったと思える瞬間は、やはり試合に勝利した時です。仲間たちと厳しい練習をし、苦しい時間を乗り越えて勝利を得た時には、何とも言えない喜びを味わう事ができます。部活としてハンドボールをやっている以上、意識を高く持って活動していかなければならないと思っております。その中で掴み取る勝利は、チームにとって格別なものです。



水の会



水 泳 部
スキューバダイビング部

水 泳 部

創立年 1955年

所属リーグ・連盟 日本水泳連盟学生委員会関東支部 男子4部 女子2部

部員数 男子13名 女子14名



主将

豊島 将生



副将

谷島 拓海



主務

寺田 沙織

部活紹介

私たち水泳部は、月水金の週3回、16時半～19時まで7号館の地下プールで活動しています。和気あいあいとしながらも、やる時にはやるとスイッチを切り替えて、部員一同切磋琢磨しながら日々の練習に取り組んでいます。今年の目標は、部員全員が関東学生選手権大会に出場することです。この目標を達成するために、新たな練習方法を取り入れたり、基礎体力をつけたりと練習に励んでいます。これからも応援のほどよろしくをお願いします。

主将抱負

主将を務めさせていただくうえで、私は「各選手がそれぞれ自分の目標に向かって努力することができる部活」を作りたいことを目指します。現在の水泳部は、大学から本格的に水泳を始めたという部員が半数以上を占めています。そういった部員達が、ただ練習をこなすだけでなく自分の考えをもって練習に取り組める環境をこの1年を通して作っていかうと考えております。

今年の活動報告

関東学生選手権水泳競技大会

女子 400m 自由形 林 5位入賞

男子 800m 自由形 水瀬 7位入賞

女子 400m 個人メドレー 林 5位入賞

日本学生選手権水泳競技大会 1名出場



新入部員の一年を通しての感想

高校時代、屋外プールで練習していた私は、7号館の地下プールを初めて目にした時、その設備の良さに驚きました。そして同時に、武蔵大学水泳部の一員として泳ぐことへの期待が高まりました。入部後は、先輩方の競泳に対する真面目な姿勢に刺激を受けました。また、そのような環境で質の高い練習をしていく中、自分自身もより一層、レースにつながる泳ぎを意識できるようになりました。これからも一回一回の練習を大切に、仲間と共に支え合い、悔いの残らないように頑張ります。

OB・OGの先輩方へ一言

OB・OGの皆様、日々多くのご支援、ご声援誠にありがとうございます。おかげさまで日々何の不自由をすることもなく、練習に励むことができいております。そのため少しでも良い結果を残しOB・OGの皆様のご期待に添えられるよう、水泳部部員一同目標をしっかりと定め、これからもより一層練習に励んでいきたいと思っております。OB・OGの皆様には、これからも絶え間ないご声援、ご支援のほどよろしくお願ひします。

やっていてよかったと思うこと

個人のレベルによってコースを選択でき、自分の希望に合うように水泳ができて、大学に入って久方ぶりに始めた水泳でしたが、楽しい部活動生活を送ることができています。また、関東学生選手権に出場すること、または好成績を収める目標に掲げています。そのために、選手間でアドバイスし合ったり、鼓舞し合ったりし、お互いで向上しあい練習の質を高めるとともに辛い練習もめげずにやりきる精神力が身に付いたように感じます。



スキューバダイビング部

創立年 1976年

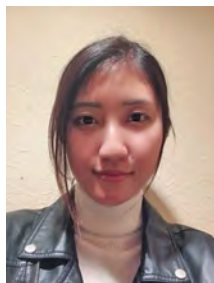
所属リーグ・連盟 無所属

部員数 男子7名 女子4名



主将

望月 悠資



副将

小野 文香



主務

新井 夏実

部活紹介

スキューバダイビング部では年間を通して伊豆へ遠征してのダイビング、八月には八丈島で10日間の合宿、またオフシーズンである二月には毎年異なる海外のダイビングスポットで合宿を企画しています。安全を第一に、楽しむことを目的としたダイビングスキルの向上、またそれを実感できる機会を多く設けることで部員全員に大学生活でのかけがえのない思い出を作ってもらえるような運営を心がけています。

主将抱負

平成30年度から40代主将として運営させていただいておりますが、今年は新入生の数が多いとは言えず難題に直面する機会もありました。その経験を活かし、後輩にしっかりと伝えていくこと、また同期達で最後まで一丸となり部員全員が心から楽しいと言ってくれるような部活の運営を心がけています。そして来年は皆で協力し、新入部員を増やすことができるよう尽力して参ります。

今年の活動報告

ライセンス取得合宿

定期的な伊豆へのダイビング遠征

八丈島での10日間のダイビング合宿



新入部員の一年を通しての感想

大学に入学し、やったことがないことをやってみてみたい、新入生歓迎会の雰囲気がよかったというような理由で入部をしましたが、ダイビングが楽しいことはもちろん部活以外での先輩とのかかわりも深くとても充実した大学生活が送れています。来年はどんな一年生が入部してくるのかが今からとても楽しみで、先輩にしてもらったことを新しい後輩にも返していきたいと思っています。

OB・OGの先輩方へ一言

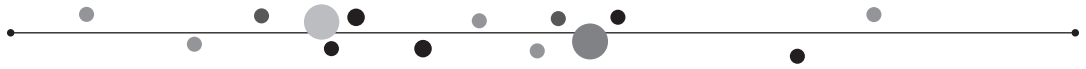
第40代という区切りの年に入部し、早いものでもう部内では一番上の代となりましたが、今までのOB・OGの先輩方が培って来られたスキューバダイビング部の雰囲気を守りより良いものとしてまた新しい代へ繋げていけるよう40代全員で精進してまいります。至らぬ点多くございますがこれからも温かく見守っていただければ幸いです。

やっていてよかったと思うこと

今年度に入ってきてくれた一年生がライセンスを取得しダイビングを重ねるごとに着実にスキルが向上していること。そしてなによりもダイビングが楽しいと言ってくれていることに大きな喜びを感じています。後輩が出来たことで先輩としての一面が見え始めた二年生や頼りがいのある同期一人一人が協力し、部活の雰囲気をより良いものにしようとする意志を実感し、それが嬉しく、また感謝しています。



風の会



軟 式 野 球 部
陸 上 競 技 部
ゴ ル フ 部
サ イ ク リ ン グ 部

軟式野球部

創立年 不明

所属リーグ・連盟 首都大学軟式野球連盟 1部

部員数 男子16名 女子4名(マネージャー)



主将

成瀬 大地



副将

小島 駿太郎



副将

筑波 康



主務

八木原 晨斗

部活紹介

私たち軟式野球部は、首都大学軟式野球連盟1部に所属し、春季、秋季リーグ戦で優勝、そして全日本、東日本大会出場を目標に活動しています。活動頻度は基本週3日で、活動場所は主に朝霞グラウンドや練馬区のグラウンドを借りて活動を行っています。また毎年2回5日間の合宿も行っております。監督やコーチといった指導者はいませんが、主将、副将らを中心にこれまでの野球経験で得た知識、練習メニューを持ち合わせながらチーム運営をしています。

主将抱負

今年度後期から主将を務めております、2年の成瀬大地と申します。私たち現2年生は幸運なことに1年の夏に全日本選手権大会の試合をベンチ、スタンドから経験させていただきました。結果は初戦敗退でしたが、全日本という大舞台で目の前で繰り広げられる高いレベルを肌で感じると共に、自分たちの力で出場したいと強く感じました。そして早くも私たちの代となりました。私たちの個々のレベルは決して他大学より劣っているとは思っておりません。ですから、全員が同じ方向を向いて、全日本を目指す雰囲気作りをしていくことが私のやるべきことだと考えております。来年度私たちが引退したときに「軟式野球部に入ってよかった」と部員に感じてもらえるような組織作りに励んでいきたいと思っております。



新入部員の一年を通しての感想

1年の水越歩と申します。私たちは1、2年生での新人戦で4戦全勝を飾ることが出来ました。3年生が引退し、新チームとなり今の目標は春優勝して全国に行くことです。しかし、春のリーグは新人戦で戦っていないチームとも戦います。今年の秋リーグで東日本大会に進んだ他チームは1、2年生の活躍が目立ちました。この冬、個人練習を重ね、春リーグを万全な状態で挑めるようにしたいです。そして、お世話になっている先輩方への恩返しとしても、自分たちの貴重な体験としても、春全国大会に出場したいです。

この部活に入部してよかったと思う瞬間

部員の多くは高校時代強豪校の控えメンバーの割合が多いです。そのため、試合に出たいという思いからこの部活に入部した部員が多いと思います。私もその一人です。高校時代控え選手だった私が中心にいて、チームが勝ち、部員みんながいい表情をしている。この時の感情はなんと表現したらいいかわからないくらいうれしい瞬間です。勝負事である以上、時には厳しいことを言い合う場面もあります。しかし、そうしてみんなで掴み取る1勝は高校時代とはまた違った嬉しさを感じます。

OB・OGの先輩方へ一言

日頃より、ご支援ご声援ありがとうございます。私たちが当たり前のように活動を続けていることができてるのは先輩方の努力と伝統の継承によるものだと思います。大会で好成績を残し、OB・OGの先輩方により報告をすることが私たちにできる恩返しだと考えております。軟式野球部がよりよい部活動になるよう部員一同努めて参りますので、今後ともよろしくお願ひします。

今年の活動報告

春季リーグ	6位
入れ替え戦	勝利 1部残留
秋季リーグ	4位
新人戦	4戦4勝



陸上競技部

創立年 不明

所属リーグ・連盟 関東学生陸上競技連盟

部員数 男子 14 名 女子 10 名



主将

諸岡 大輝



副将

今野 太賀



主務

野村 紗英

部活紹介

陸上競技部は、四年生 4 名、三年生 2 名、二年生 13 名、一年生 5 名の計 24 名で活動しています。人数が少ないことを生かし、一人一人が部活にどのように関わっていくのか考え行動し、練習から競い合いながら取り組んでいます。部全体としても対校戦で常に上位争いのできるチーム作りをしています。練習場所は限られ、日ごろから専門練習ができない競技もある中でどうすれば質の高い練習ができるのか部員一人一人が考え、行動しそれぞれ目標を達成できるように日々活動しています。

競技説明

走る、跳ぶ、投げるといった基本的な動作、体力で記録を競い合うスポーツです。走る種目（100m など）でタイムを競うトラック競技と、跳ぶ種目（走幅跳など）や投げる種目（ハンマー投）を主体とするフィールド競技、様々な競技を行い、得点を競い合う混成競技に分けられます。トラック競技の大半は陸上トラックを使い、フィールド競技はトラックの内側と外側にあるフィールドで行われます。陸上競技は個人競技と思われがちですが、リレーや駅伝をはじめとして仲間と一緒に練習や応援をするため、団体競技としての一面を持っています。

練習曜日

火 水 金 土

主な活動場所

城北中央公園

織田フィールド

夢の島競技場

武蔵大学校内



主将抱負

陸上競技部の主将を務める長距離ブロック二年諸岡大輝です。今年度は八大戦が6位、四大戦が4位という結果で、終わりました。力がある四年生が抜けたことや女子選手の少なさなど原因は挙げられますが、個々の力においてまだまだ伸びしろがあると私は考えています。来年度は1つでも順位が上げられるように部活内の雰囲気作りから変えていき、競技にもっと打ち込める環境を作ります。その中でそれぞれが自分のやるべきことを明確化し自ら考えて動くことで自然と結果はついてくると思います。その為私我先頭に立ち背中で引っ張っていける存在になります。

新入部員の一年を通しての感想

自分が1年間陸上部に所属して一番驚いたことは一人一人が陸上競技に対して現状維持ではなく常により前へより先へを持っていてそのような上昇志向が何気ない会話からも感じ取れたことです。そしてこの環境のお陰でお互いに高みを目指しているからこそ味わえる楽しさを感じることができました。これからもこの環境をいかして個人としてだけでなく部活の成長に貢献していけたらと考えています。



やっていてよかったと思うこと

私は高校までサッカーをやってきました。大学では新しいことを始めたいと思い陸上部へ入部しました。始めたころは自分との戦いが強い競技だと感じていましたが、日を重ねるごとに仲間の応援、サポートなくしては競技を行うことはできないと実感し、記録会や対抗戦で結果を出している選手がいれば自分のように喜んでいる選手、マネージャーの姿を見て陸上を始めて良かったと心から思っています。最高の先輩、同期、後輩に出会えたことに感謝し、これからも競技に取り組んでいきたいです。

OB・OGの先輩方へ一言

日頃のご支援大変感謝しております。記録会や対抗戦に応援に来ていただいたり、寄付をしてくださったりとOB・OGの先輩方からのお気遣いに部員一同大変喜んでおります。

四大学対校戦や八大学対校戦においては満足した結果を残せていませんが、毎年着々と力がついているのは確かです。先輩方が作り上げてきた武蔵大学陸上部の良いところを受け継ぎながら新たな歴史の1ページを作り上げていきたいと考えております。これからもご指導、ご鞭撻のほど宜しくお願い致します。

今年の活動報告

関東学生陸上競技対校選手権大会 1名出場

男子 1500m 村岡修希

関東学生新人陸上競技選手権大会

八大学対校陸上競技大会

総合第6位

男子 4 × 100m リレー

新田大輔 板橋辰樹 足立陽介 今野大賀

関東学生陸上競技対校選手権大会標準記録突破

四大学対校陸上競技大会

総合第4位

ゴルフ部

創立年 1957年

所属リーグ・連盟 関東学生ゴルフ連盟

部員数 男子25名 女子15名



主将
神保大裕



副将
安原圭吾



主務
山本裕二

部活紹介

(競技説明)

ゴルフはティーグラウンドから最大14本のクラブを使いボールをグリーンまで運び、グリーンに乗ったボールをパターで転がし、カップにより少ない打数で入れる競技です。個人戦・団体戦どちらもプレイヤーがコースと自分と戦うスポーツです。

(部活紹介)

ゴルフ部は現在、合計40人で活動しています。活動日は不定期に練習場・ショートコースを使って練習しています。

協賛して頂いているゴルフ練習場を格安で使わせていただき、練習に励んでおります。

練習以外には皆で試合やプライベートゴルフで実際にコースを回ります。

部員全員が仲良く、とても楽しい部活です。

主将抱負

ゴルフ部主将、2年森屋創太です。

私は小学生時代に一度ゴルフを経験し、中学受験をきっかけに身を引いておりましたが、今年、先輩との出会いをきっかけにゴルフ部へ入部致しました。

実力はまだまだ初心者の段階ですが、ゴルフを通じて社会的な礼節や、人との繋がりを大切にするゴルフの精神を有難く勉強させて頂いております。

ゴルフは、相手との競争というよりは、自分と向き合うという側面が非常に強いスポーツです。そういうスポーツだからこそ、一緒に回る方との出会いがあり、また、より親密になれるのだと思います。

この度ゴルフ部主将という、身に余る大役を仰せつかり非常に光栄に思うと共に、その重責を果たすため出来る限りの努力をしていく所存です。

私は投資サークルの会長も兼任しておりますので、投資サークルとゴルフ部での共同作用を生み、1年後にはゴルフ部をより良いサークルにして主将を次の代に引き継げればと思います。

OB,OGの皆様を失望させないよう精一杯頑張りますので、何卒ご指導・ご支援の程よろしく願います。

やっっていてよかったと思うこと

前年度主将の神保大裕です。

この度は OB,OG 様の皆様に、文面の中で恐縮ですが、1年間大変お世話になったことのお礼を申し上げるためにフリーの枠をお借り致しました。

ゴルフクラブの寄付、コースへの招待など、数えきれないほどのご支援を賜り、私としても沢山の思い出を授かりました。

非常に有難く思います。誠にありがとうございます。

今年度主将の森屋はゴルフに関しては初心者ですが、信頼のおける人物でございます。より良い部活にするため尽力させますので、今年度も引き続きのご指導、ご支援の程、何卒宜しくお願い致します。

OB・OGの先輩方へ一言

OB,OGの皆様には、日頃から多大なるご支援、ご鞭撻いただき部員一同大変感謝しております。今年度は部員数をより多く確保し、それをもとに活動の幅を広げ、武蔵大ゴルフ部をより充実した部活にしていきたいと考えております。

至らぬ点多々あると思いますが、今後ともご指導・ご支援の程よろしく申し上げます。

新入部員の一年を通しての感想

武蔵大学ゴルフ部の特徴として、OBやOGの皆様との交流の機会が多いというのを始めに実感しました。

また、部室があることで先輩との距離感も近く、いつでもゴルフを教えてもらえるし、みんなとも仲良く和気あいあいとしています。

提携したゴルフ場を格安で使わせて頂けるので、非常に安価に練習させていただくことができ、さらに時間制の料金プランなので金額を気にせず打ちまくれるという素晴らしい環境で練習できるのもとても良い点だと思います。

素晴らしい先輩たちのもとでゴルフは紳士のスポーツであることや、ゴルフを通して様々な儀礼や作法を日々学んでいます。

ゴルフを通していろいろな世代の方々とプレーをし、コミュニケーションがとれるところがゴルフの良いところだと思うので、そのような方々との出会いを大切に、自分を成長させていきたいと思っています。

今年の活動報告

四大戦 4位

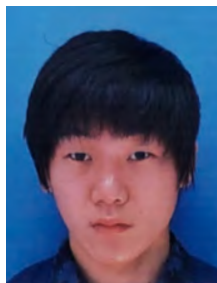


サイクリング部

創立年 1965年

所属リーグ・連盟 無所属

部員数 男子14名 女子11名



主将

佐藤 純哉



副将

中里 明男



主務

矢崎 里奈

部活紹介

サイクリング部では、主に自転車を使い全国各地を巡る活動をしています。自転車を使い各地を巡ることによって、その土地の伝統や景観、食文化などを体験できます。普段は毎週火曜日と木曜日の走行練習、土日祝日は宿泊行事や各種イベントをそれぞれ行っています。1番大きなイベントは夏季休暇期間に約3週間に渡って行う夏合宿です。この合宿行き先は北海道・九州・東北の3つです。1年に1つ、計3年間かけて3箇所すべてを回ります。その他にも様々なイベントが1年を通してある、とても活発な部活動です。

主将抱負

来年度サイクリング部主将を務めさせていただくことになりました佐藤です。私の抱負は、部員のみんながサイクリング部に入ってよかったと思える部活を作ることです。単純ですが、簡単なことではありません。ときには部活で嫌な思いをしてしまう人もいし、部活に対する意欲が下がる時期もでてくると思います。しかし、それは悪いことではなく、むしろいいことだと思います。私は楽しいだけの薄い部活は作りたくありません。喜怒哀楽、様々なことを経験して、10年後20年後、大学生活を振り返ったとき、「あのときは楽しかったな」と思えるような部活を私は作りたいです。



新入部員の一年を通しての感想

私は今年入部してきた1年生達に初めてあったとき、控えめそうな子が多いかなと感じたのですが、共に過ごしていくうちにそれがまったくの見当違いだったことに気が付きます。みんながみんな強い個性をもち、なおかつとても元気で一緒に過ごしていてとても楽しいです。来年度は、持ち前の元気の良さを活かしてこの部活を引っ張って行ってほしいです。

やっていてよかったと思うこと

たくさんありますが、掻い摘んでお話しします。1つは旅の素晴らしさを知ることができることです。自転車と最低限の生活用品だけを持って、約3週間1000キロ近く駆け回るという体験はとても楽しく、辛く、得難い素晴らしい体験です。

2つ目は、生涯の友達ができることです。この部活は、集団生活をする機会が頻繁にあるため、嫌でも仲良くなります。気が合う人はめちゃめちゃ仲良くなります。そうやって、3年間一緒に過ごした友達とは、卒業した後も縁が切れることはないと思います。

OB・OGの先輩方へ一言

私達がこの部活に入部できたのは、ひとえにこの部活を守り続けたOB・OGの皆様のおかげです。本当にありがとうございます。私はこの部活が今後より発展していけるように、微力ながら尽力いたします。



体育連合会会員一覧表

クラブ名	会員数	クラブ名	会員数
高志会	191	金曜会	67
應援團	15	バスケットボール部 男子	16
合気道部	1	バスケットボール部 女子	7
剣道部	27	バドミントン部	12
空手道部	8	バレーボール部 男子	19
柔道部	33	バレーボール部 女子	6
卓球部	24	ハンドボール部	7
スケート部	30		
少林寺拳法部	6	水の会	43
スキー部	13	水泳部	27
ワンダーフォーゲル部	34	スキューバダイビング部	11
		ヨット部	5
水曜会	480	風の会	136
サッカー部	58	サイクリング部	25
硬式庭球部 男子	5	軟式野球部	20
硬式庭球部 女子	5	陸上競技部	24
硬式野球部	134	弓道部	21
ホッケー部 男子	26	ゴルフ部	40
ホッケー部 女子	24	自動車部	6
ラグビー部	50		
洋弓部	34		
アメリカンフットボール部	46		
ラクロス部 男子	73		
ラクロス部 女子	25		
体育連合会会員総数			917

学 部				大 学 院					
4月	1日	(月)	} ガイダンス・健康診断	4月	1日	(月)	} ガイダンス・健康診断		
	6日	(土)			6日	(土)			
5月	2日	(火)	入学式	5月	2日	(火)	入学式		
	8日	(月)	前学期授業開始 / 第1クォーター授業開始		8日	(月)	前学期授業開始		
	17日	(水)	開学記念日 (休講としない)		17日	(水)	開学記念日 (休講としない)		
	29日	(月)	祝日授業実施		29日	(月)	祝日授業実施		
	30日	(火)	国民の休日授業実施		30日	(火)	国民の休日授業実施		
	1日	(水)	祝日授業実施		1日	(水)	祝日授業実施		
	2日	(木)	国民の休日授業実施		2日	(木)	国民の休日授業実施		
	3日	(金)	祝日授業実施		3日	(金)	祝日授業実施		
	17日	(金)	} 6時限相当はクォーター科目補講時間 (土・日を除く)		7月	15日	(月)	祝日授業実施	
	22日	(水)				16日	(火)	} 休講日 (学部補講日)	
19日	(日)	学内運動競技大会	17日	(水)					
25日	(土)	} 学内運動競技大会	8月	27日		(土)	前学期授業終了		
26日	(日)			28日		(日)	} 夏季休暇		
28日	(火)	クォーター科目授業及び試験期間 (土・日を除く)		9月		12日		(木)	後学期授業開始
3日	(月)	第1クォーター授業終了				13日		(金)	後学期授業開始
4日	(火)	第2クォーター授業開始				16日		(月)	祝日授業実施
8日	(土)	クォーター科目試験予備日				23日		(月)	祝日授業実施
13日	(木)	学生大会 (5時限以降)				10月		14日	(月)
15日	(月)	祝日授業実施			18日			(金)	休講 (四大学運動競技大会)
16日	(火)	} 補講日			22日			(火)	祝日授業実施
17日	(水)				25日		(金)	} 6時限相当はクォーター科目補講時間 (土・日を除く)	
24日	(水)	前学期授業終了	11月		2日		(土)		白雉祭準備日
25日	(木)	} セメスター科目試験期間 / クォーター科目 授業及び試験期間 (土・日を除く)			3日		(日)	} 白雉祭	
31日	(水)			第2クォーター授業終了	4日		(月)		白雉祭後片付日 (休講)
31日	(水)	試験予備日		6日	(水)		} クォーター科目授業及び試験期間 (土・日を除く)		
8月	1日	(木)		前学期集中授業期間 (土・日を除く)	12日			(火)	} クォーター科目授業及び試験期間 (土・日を除く)
	2日	(金)		} 夏季休暇	12日		(火)		
	7日	(水)			9月	8日	(日)	後学期集中授業期間	
	8日	(木)		12日	(木)	後学期授業開始 / 第3クォーター授業開始			
	9月	8日		(日)	13日	(金)	祝日授業実施		
		9日		(月)	16日	(月)	祝日授業実施		
		12日	(木)	23日	(月)	祝日授業実施			
		13日	(金)	26日	(木)	9月卒業式			
		16日	(月)	14日	(月)	祝日授業実施			
		23日	(月)	18日	(金)	休講 (四大学運動競技大会)			
26日		(木)	20日	(日)	祝日授業実施				
10月		14日	(月)	22日	(火)	祝日授業実施			
		18日	(金)	25日	(金)	} 6時限相当はクォーター科目補講時間 (土・日を除く)			
		20日	(日)	30日	(水)				
	22日	(火)	祝日授業実施	11月	2日	(土)	白雉祭準備日		
	25日	(金)	11月		5日	(火)	休講 (白雉祭後片付日)		
	30日	(水)	23日		(月)	祝日授業実施			
	11月	2日	(土)		24日	(火)	} 冬季休暇		
		3日	(日)		7日	(火)			
		4日	(月)		8日	(水)	} 補講日		
		5日	(火)		10日	(金)			
6日		(水)	14日		(火)	後学期授業再開 / 第4クォーター授業再開			
12日		(火)	21日		(火)	後学期授業終了			
12日		(火)	22日		(水)	} セメスター科目試験期間 / クォーター科目 授業及び試験期間 (土・日を除く)			
12日		(火)	28日	(火)	第4クォーター授業終了				
12日		(火)	28日	(火)	第4クォーター授業終了				
12月		23日	(月)	29日	(水)	} 試験予備日			
24日	(火)	30日	(木)						
1月	7日	(火)	} 冬季休暇	3月	22日	(日)	卒業式		
	8日	(水)			22日	(日)	学位授与式		
10日	(金)	補講日							
14日	(火)	後学期授業再開 / 第4クォーター授業再開							
21日	(火)	後学期授業終了							
22日	(水)	} セメスター科目試験期間 / クォーター科目 授業及び試験期間 (土・日を除く)							
28日	(火)		第4クォーター授業終了						
28日	(火)	第4クォーター授業終了							
29日	(水)	} 試験予備日							
30日	(木)								
3月	22日	(日)	卒業式						

第 69 回四大学運動競技大会得点表

【正式種目得点表】

	成蹊大学		武蔵大学		成城大学		学習院大学	
	順位	得点	順位	得点	順位	得点	順位	得点
アイスホッケー	-	1	2	1.5	3	1	1	2
アメリカンフットボール	3	2	4	1	2	3	1	4
駅伝(男)	1	4	4	1	2	3	3	2
駅伝(女)	2	3	3	2	4	1	1	4
弓道(男)	4	1	3	2	1	4	2	3
弓道(女)	1	4	3	2	4	1	2	3
剣道(男)	3	2	2	3	4	1	1	4
剣道(女)	1	4	4	1	3	2	2	3
硬式庭球(男)	3	2	4	1	1	4	2	3
硬式庭球(女)	4	1	3	2	2	3	1	4
硬式野球	3	2	1	4	4	1	2	3
ゴルフ	2	3	4	1	3	2	1	4
サッカー	1	4	3	1.5	2	3	3	1.5
柔道	3	2	1	4	2	3	4	1
水泳	2	1.5	3	1	-	1	1	2
水球	1	2	-	1	3	1	2	1.5
漕艇	1	2	-	1	3	1	2	1.5
卓球(男)	4	1	2	3	3	2	1	4
卓球(女)	1	4	3	2	4	1	2	3
バスケットボール(男)	4	1	2	3	3	2	1	4
バスケットボール(女)	-	1	3	1	2	1.5	1	2
バドミントン(男)	2	3	3	2	4	1	1	4
バドミントン(女)	4	1	3	2	1	4	2	3
バレーボール(男)	3	2	4	1	1	4	2	3
バレーボール(女)	1	4	3	2	4	1	2	3
ハンドボール	1	2	3	1	-	1	2	1.5
ホッケー(男)	-	1	1	2	3	1	2	1.5
ホッケー(女)	-	1	1	2	2	1.5	3	1
洋弓(男)	2	3	3	2	4	1	1	4
洋弓(女)	4	1	3	2	2	3	1	4
ヨット	2	1.5	-	1	3	1	1	2
ラクロス(男)	1	4	2	3	3	2	4	1
ラクロス(女)	2	3	4	1	3	2	1	4
ラグビー	1	4	2	3	3	2	4	1
陸上競技	2	3	4	1	3	2	1	4
計		81		64		68		96.5

【一般種目得点表】

	成蹊大学	武蔵大学	成城大学	学習院大学
	得点			
テニス(男D)	4	0	2	3
テニス(女D)	0	0	3	4
テニス(混D)	3	0	0	4
サッカー	3	2	4	0
フットサル(女)	4	2	1	3
ソフトテニス(男)	4	0	0	3
ソフトテニス(女)	2	0	3	4
ソフトテニス(混)	4	2	0	3
軟式野球	2	0	4	3
ソフトボール(男)	4	2	3	0
ソフトボール(女)	2	4	1	3
バスケットボール(男)	3	0	0	4
バスケットボール(女)	2	1	4	3
バレーボール(男)	4	3	0	2
バレーボール(女)	0	4	3	2
バドミントン(男D)	4	3	2	0
バドミントン(女D)	1	4	3	2
卓球(男S)	1.5	1	0	2
卓球(男D)	2	0	1	1.5
卓球(混D)	1	0.5	2	1.5
卓球(女S)	1.5	0.5	2	1
卓球(女D)	2	0.5	1.5	1
計	54	29.5	39.5	50

【教職員種目得点表】

	成蹊大学	武蔵大学	成城大学	学習院大学
	得点			
教職員テニス	2	3	1	4
教職員ソフトボール	3	1	2	4
教職員バレーボール	4	1	3	2
計	9	5	6	10

【総合得点表】

成蹊大学	武蔵大学	成城大学	学習院大学
135	93.5	107.5	146.5

平成30年度 幹部紹介



委員長
経済4年
男子硬式庭球部
高江 優人



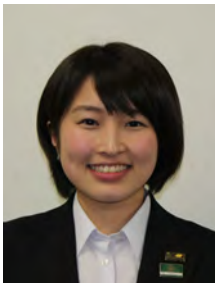
副委員長
第54回学内運動競技大会実行委員
経営4年
ラグビー部
蛭間 捺乃



第69回四大学運動競技大会推進副局長
金曜会委員長
経営4年
男子バスケットボール部
江崎 有華



第54回学内運動競技大会実行委員長
金融4年
女子ラクロス部
鈴木 愛実



財務局長
金融4年
ワンダーフォーゲル部
森 美遥



渉外局長
風の会委員長
金融4年
陸上競技部
新井 千夏



式典局長
高志会委員長
メディア社会4年
剣道部
吉岡 優作



総務局長
経済4年
スキー部
笠井 祐貴

平成 31 年度 幹部・本部員紹介



委員長
金融 4 年
硬式野球部
小 平 翔



副委員長
厚生局長
日東 4 年
サッカー部
酒 井 樹 哉



第 70 回四大学運動競技大会推進局長
金曜会委員長
経営 4 年
ハンドボール部
水 田 歩 幹



第 55 回学内運動競技大会実行委員長
英米 4 年
男子ラクロス部
加 藤 修 人



財務局長
英米 4 年
女子陸上ホッケー部
小 川 菜 々 子



渉外局長
金融 4 年
バドミントン部
藤 多 隼 矢



式典局長
水曜会委員長
経営 4 年
男子ラクロス部
久 保 直 輝



総務局長
高志会委員長
日東 4 年
空手部
小 野 勇 太



第 70 回四大学運動競技大会推進副局長
経済 4 年
男子ラクロス部
高 橋 隆 一



渉外副局長
日東 4 年
弓道部
谷 口 僚



式典副局長
風水の会委員長
経済 4 年
サイクリング部
川 端 一 崇



財務副局長
金融 4 年
男子バレーボール部
加 藤 ひ な た



厚生副局長
メディア社会 4年
女子バレーボール部
加藤 ひかり



第55回学内運動競技大会実行委員
経営 4年
アメリカンフットボール部
田村 愛莉



第70回四大学運動競技大会推進局員
風水の会副委員長
社会 3年
水泳部
執印 千佳



第70回四大学運動競技大会推進局員
金融 3年
男子陸上ホッケー部
辰馬 寛太



第70回四大学運動競技大会推進局員
総務局員
経済 3年
女子硬式庭球部
鈴木 ひかる



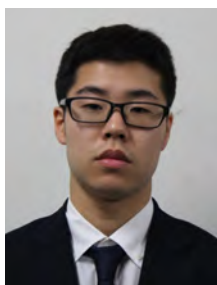
第55回学内運動競技大会実行委員
経済 3年
卓球部
安藤 祐基



第55回学内運動競技大会実行委員
経済 3年
バドミントン部
水野谷 元希



財務局員
金融 3年
スキューバダイビング部
富樫 類



財務局員
高志会副委員長
社会 3年
少林寺拳法部
前田 宏平



渉外局員
社会 3年
ラグビー部
辻 智世



渉外局員
英米 3年
女子ラクロス部
渡辺 薫



式典局員
メディア社会 3年
女子バスケットボール部
金 麻由



式典局員
英米3年
女子ラクロス部
田中 良美



厚生局員
社会3年
ハンドボール部
笠間 ななみ



総務副局長
日東3年
ヨット部
新里 瞭



第70回四大学運動競技大会推進局員
経営2年
剣道部
大里 勇人



第70回四大学運動競技大会推進局員
第55回学内運動競技大会実行委員
経営2年
男子硬式庭球部
平川 洋好



第55回学内運動競技大会実行委員
日東2年
ゴルフ部
戸泉 さくら



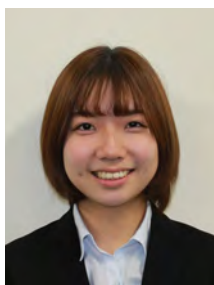
財務局員
ヨーロッパ2年
スキー部
鈴木 不二



渉外局員
社会2年
洋弓部
高橋 さくら



式典局員
金融2年
硬式野球部
村岡 優希



厚生局員
英米2年
陸上競技部
金子 千春



総務局員
ヨーロッパ2年
ワンダーフォーゲル部
秋永 冬馬



総務局員
金融2年
男子バスケットボール部
並木 健太

武 緑

発行年月日 平成 31 年 2 月
発行責任者 東京都練馬区豊玉 1-26-1
武蔵大学体育連合会委員長
小 平 翔
編集責任者 藤多 隼矢
印 刷 大野印刷株式会社

